妹!
アンドロイド
谷澤史紀
Presented by
Shiki Tanisawa
Young Champion
RETSU Comics
YUKINA
SUI
KOUNE
VOLUME
03
Sister!
Android

Young Champion
RETSU Comics
妹(いもうと)!アンドロイド
VOLUME
03
Sister! Android
Presented by Shiki Tanisawa
谷澤史紀

Sister! Android

Presented by Shiki Tanisawa

VOLUME 03

CONTENTS

EPISODE No.		PAGE
［第16話］		003
［第17話］		027
［第18話］		053
［第19話］		077
［第20話］		100
［第21話］		125
［第22話］		149
［第23話］		171

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。

妹！アンドロイド

FIRST PUBLISHING LIST

初出

［ヤングチャンピオン烈］
2014年No.11～12
2015年No.1～2、4～7

この物語は>>>

主人公の松田秋(まつだしゅう)は、漫画家を目指して都内の専門学校に通う、妹萌え気味でオタク趣味のさえない男の子。そんな彼が一人暮らしするアパートに、ある日突然やってきた自称妹型アンドロイドの少女・スイ!!　名前以外は全く謎だらけのスイのペースに終始乗せられっぱなしの秋は、何だかんだで彼女とドキドキ同居生活をすることになったのだが??

夏休み！

白い雲！

青い空！

まぶしい太陽！

海 サイコー——!!

だけど…

そして水着姿の

鹿島(かしま)さん!!

たゆゆん♡

第16話
ハロ
ハロ
ハロ
あちー
お、きれーじゃん
おおー
スイ

うわ お前今
私のコト エロイ目で
見てたろ！ 変態!!
更に人数増えてるし…
はぁ…なんで
こんなことに…

姫ちゃん先生！
そんなにやつれて
大丈夫ですか？

夏休み 海
泊まるならココ
どーですか？
うわ 安
いいんじゃ
ね？
あーでもここ 車が
ないとムリかも…

じゃあ……
いいわねー
若いって…
私も海に
行きたいなぁー

ちょっと原稿の〆切が…
まー趣味のBL同人誌の方なんだけど…
くて…
あじゃあ よろしければ先生も海ご一緒しませんか？
いいね！ 先生も来てくれたら車使えるじゃん！
え？ まぁ 免許は持ってるけど…
原稿も海辺のコテージでやった方がはかどるんじゃないですか？
海辺のコテージ……
もやもやぇん
いいかも！
もしかして原稿手伝ってもらえるかもしれないし…
ぴよ
えー
いやでも 先生そんなフラフラで運転はやめた方がいいんじゃ…
あじゃあ運転できるお友達誘っていい？

昔から なんだかんたと
私のこと助けてくれる
友達なの！
同じこの
海岸のOBなの。
…で まさかその友達ってのが
あのあおいさんだったとは……
あれ!?
あおい
さん!?
え？
鹿島!?
それに…ゲ!!
お前まで!!
くっそー ヒメの奴 若い男もいるって
いうから 水着気合い入れてきたのに…
……
まさかヒメの教え子で
アイツだったとは…
やっぱヒメに関わると
ロクなことねぇ！
はち
こうなりゃ せっかく海に来たんだし
ナンパされることに賭けよう！
あれ？

そういえば
姫ちゃん先生は？
先生なら原稿描くって
コテージに残りましたよ
暑いし 虫にさされるし
うるさいし
予定と違ーう!!
あ レイちゃん
大丈夫？
ちょっと車に
酔ったみたい
昨日 今日の為に遅くまで
原稿がんばってたから…
少し休めば大丈夫
せっかく来たんだし
鹿島は海で
遊んで来いよ
あ…
うん…

松田
テメェ
鹿島に
変なコトしたら
ブッとばすからな
し…
しない
よ〜〜〜
…ところでスイ…お前なんで
スク水に浮き輪なんだよ…
プアー
あ もしかして
泳げないとか？
ドキ
あー
あの…
しまった！
今のアンドロイド
って聞かれて…
な なに？
じ…実は私…
もじ
泳げないの…
学校にプールなかったから…
もじ
へ？
あ じゃあ…
オレが泳ぎ方
教えるよ
あ うん…
ありがとう
がんばる！
アンドロイドですから
水に浮かないだけで
泳げます
水中仕様
なのデス
スイ

そうそう
うまいうまい
パシャパシャ
パシャパシャ

おおっラッキー！
鹿島さんと堂々手をつないでられる
パシャパシャ
スイミングスクール通ってて良かたー！

姫ちゃん先生はコテージだし
観音寺はダウンしてるし
あおいさんはどっかに行っちゃったし

あとはコイツさえどっか行ってくれれば…
鹿島さんと二人きりなのに…
パシャパシャ

鹿島さん 今度はちょっと
手を放してみるから
さっき教えたみたいに
手をかいてみて
え？
きゃ！
じたばた
ま まだ
ちょっと…
ま まつだ…くん！
ご ごめん
慌てないで
ココ足つくから
あ…ホントだ…
うおーっ！
鹿島さんの
おっぱいがー!!
むにゅ!!
ご ごめんなさい
いや…
オレの方
こそ…
あ！

え!?
あ…

きゃああ！
み…水着が…
えと…
どこ行った!?

あ ここに
ありました——

ありがとう スイちゃん
つけて
あげますね
忘れないうちに今の絵
脳内保存 脳内保存

ごめんね
スイちゃんまで
私の練習につきあわせ
ちゃって…
スイちゃんは何か
やりたいことないの？
いえ…
別に…

あ じゃあ
練習ついでに そこの島 行きませんか？
え？ アソコ？ 大丈夫かな？
大丈夫です 浅いですから 足もつきますよ
じゃ…じゃあ…
ザザァ
つ…ついた…
アレ…スイは？ どこ行った？
はぁ
はぁ
思ったより 疲れちゃった… 休憩……

でも
気持ちいい…
ドキ
ドキ
今…無人島で鹿島さんと…
二人きり
そぉ〜
じー
う スイ…いたーっ!!
ドキ…
ヘタレ お兄サマ〜♪
うっせー
あ スイちゃん 私も もうヘトヘト

平和だなぁ
そうですね

ごごめん ちょっと腹へって
私もノド渇いちゃった

だいぶのんびりしたし そろそろ戻ろうか
うん

あれ？ 何か前より深くなってる…？
あ 潮が満ちて来たんだ！
ど どうしよう …私…まだ泳げないのに…

てれ てってれ——
うきわ——
スイ
どーぞ
え でも スイちゃんは？
私は泳げますから
いいの？ ありがとう
いえ
よし じゃあ戻ろう
って スイ どこ行くんだよ
あ ちょっと おしっこに 先に戻ってて下さい
戻ってから すりゃいいじゃん
ガマンできません
別に ここでしてもいいですけど
あ どうぞ 行ってきて下さい
先にメシ食ってるからな

おーい 鹿島〜
松田〜〜〜!
どこに
いたんだよ

ザザァ

あっちの島へ
行ってたの
レイちゃんはもう
大丈夫なの?
ああ だいぶ
気分よく
なった
ぐ〜
腹へった
オレもペコペコ
そこの海の家でメシ食おーぜ

メシ¥600
焼

ひゃ〜〜〜〜
雨降ってきた

……
スイちゃん
戻って来ないね……

まぁ スイのことだし
心配いらないよ

泳げるって言ってたし

うん…

ごちそうさま

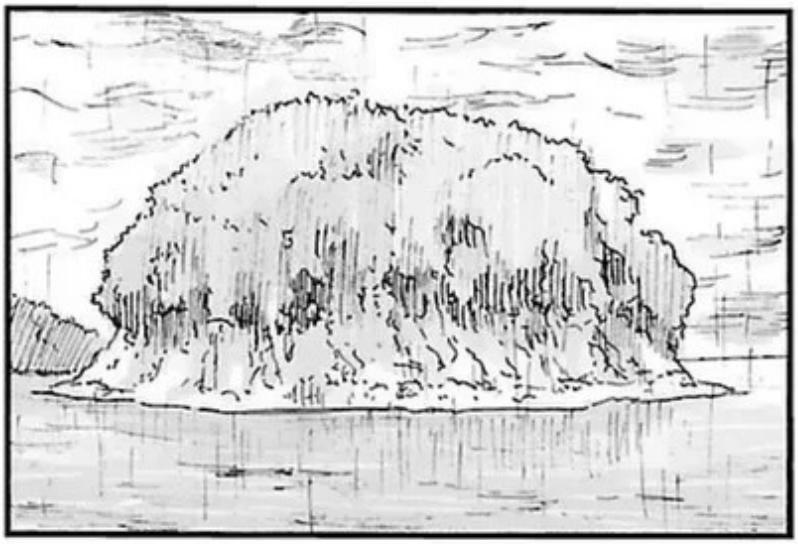
さてと腹もふくれたし
もうひと泳ぎ
してくるかなー

ぐる
ぐる

え!? お前 雨の中
泳ぎに行くの?

ん? でも
泳ぐなら
どーせ濡れるし
関係ないのか?

いや――
変だろ



ジャリ…

着いた――

はぁー何やってんだ
……オレ…

どーせスイのことだし

もうこんな所に
いるわけないのに…

いた――!!
泣いてる…?
スイ…
え?
何してんだよ スイ
ホラ 浮き輪持って
きたから 戻るぞ
ダメです お兄サマ
雷が……
え?
雷…? あ 確かに…でも
大丈夫だろ まだ遠いし
危険です
海に雷落ちたら
感電してしまいます
ゴロゴロ

そういやコイツ
ゴロ
ゴロ
雷 苦手
だったっけ…
ビクッ
ビクッ
ま一確かに
危ないかー
仕方ない
雷おさまるの待つか
ゴロ
ゴロ

ホラ 大丈夫だよ
なでなで
なでなで

お…お兄サマ?
あ…いや
ごめん…
つい…

いえ…
すっ

なで
なで
こうしてお兄サマに
頭なでてもらうの…私…
好きでしたよ
え…そう?
あれ? 前に頭なでたこと…あったっけ…?
ちら
うるる
な…なんだよ
…なんか調子狂うな…
お兄サマ
アレ…? なんかヤベ…
ドキドキ
いつもと様子違うからか…?

なんか…スゲー
かわいく見える…

うるんっ

お兄サマ……

ぐい

すとん

ちょ…
スイ…？

ぎゅ

お兄サマ
あったかい…

スイも…
あったかい…
すぅ…
素肌の方が
より温かいんですよ
はぁ
はぁ
ガチガチ
んんっ
スイ…？

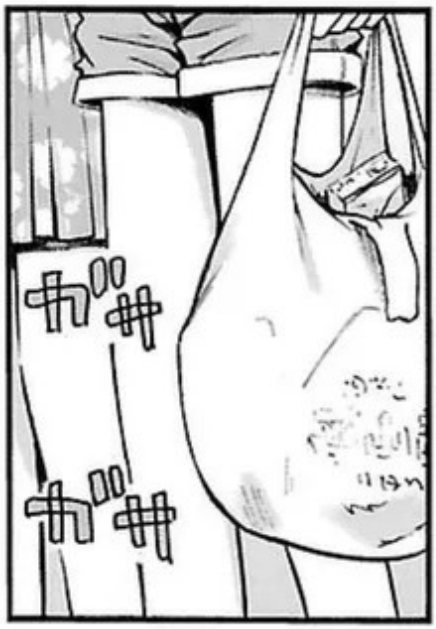
くちっ
んふ
グリ
んくっ
グリ
グリ
はっ
ぐに
ぐに
ビク
ビク
お兄サマ…
胸がジンジン
して……
もみ
んっ…
ピク

もっと…強く…
熱して…
下さい…
ズリ
ズリ
あ
んっ
んちゅ
そう…気持ち
いいです…

あッ!!
オレ…も…
止まんないです
あ
いっちゃいます
あッ
熱い
どくん
はんッ
ビクン
ビクン
ああッ
ビクン
くあッ
あああッ
ピュク
ピュル
ピュルル

お兄サマ…
ホラ 早く行きますよ
私もおなかすきました
んだよ
さっきまでベソかいてたクセに
なっ!? 何言ってるんですか!!
あれは海水を排出してただけです
機械には毒ですから
ウソつけ
ウソじゃないです!

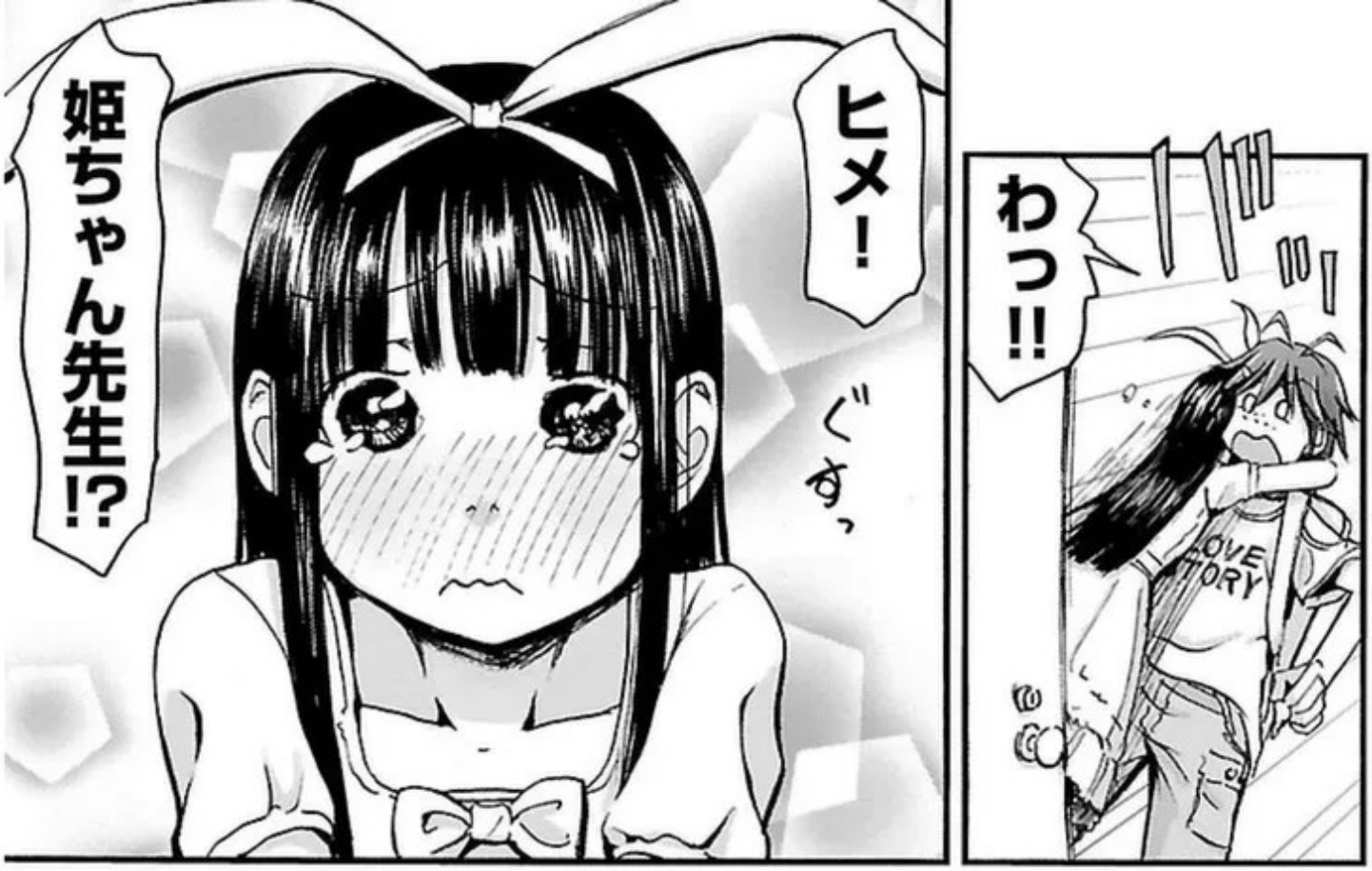
第17話


カバ
カバ

ジー
つかれたねー

早く夕飯にしよーぜ
LOVE
STORY
カチャ

やっと戻ってきた…


わっ!!
ヒメ!
ぐす。
姫ちゃん先生!?

みんなー遅いよ~
おなか空いた~
……忘れてた
わかったわかった
食材買ってきたから
ホラ おかしもあるぞ
うん

夕飯は何にするの?
まあ 定番のカレーだけど
カレー?
やったあー
子供だ
子供がいる!

グッ
グッ
お前はなぜオニギリをにぎっている…
あ、クセで…

え!? ヤダよ
なんで私が
友達でしょ——
頼れるのはあおちゃん
だけなの〜〜〜
今度あおちゃん ピンチの時は
私が手伝うからあ〜〜〜
LOVE
STORY

わかったよ
しゃーねーなー
結構 面倒見
いいんだな あおいさん
えーと 夕飯
できましたよー
もぐもぐ
やったぁーありがと
あおちゃん
ATSIGN
WATER
ちょっとだけだぞ

ふー くった〜
もお
動きたく
ない〜
でもお片づけ
しなくちゃ
てててって
れ〜〜〜
トランプ〜〜〜
TRUMP
RIDER BACK
PLAYING CARDS

大富豪で勝負して
負けた人が皿洗いで
どうでしょう
WATER
SHOWER
いい
ね――
のった！

よしゃー 大富豪！
くそー
松田のワセに…

じゃあ一時間後に
大貧民だった人が
皿洗いということで

オレたちはココに
布団しいて寝れば
いいんじゃね？
え…？
え？ コイツと
一緒!? 危ない
んじゃ？

ところで
寝る所は
どーするの？
ベッドは二つしかないから
先生たち使って下さい

まーさすがに皆いるんですし 大丈夫じゃないんですか
ちょっとでも変なコトしたらボコボコにしてやりゃいいしな
もー松田君はそんなコトしないよ ね？
えと…革命
あ うん
え!?
革命!?
くっそー直前まで大富豪だったのに…
貧民
大貧民
ごめんね 私が最後に革命なんてしちゃったから
ジーー
んじゃ オレたちは先にフロに入ろーぜ
さっき見たらココのおフロ結構広かったですよ
ヒメ 私たちも行こうぜ！
うん
おフロ…

のぞくなよ
絶対のぞいてはダメですよ
むしろのぞけと言われているよーな
のぞくなよ
パァ
プゎァ
うは――
気持ちいい…
いい眺め――

確かに いい眺めですねー
ホントに――
くっそーヒメの奴 背低いクセになんで胸だけオレよりデカいんだよ
ごくらく
ごくらく
ううー日焼けしたとこヒリヒリするし…
私もです
ってお前フロでもヘッドホンしてんのかよ
ふふん
ハイ コレ防水なんですよ♡
いや なんで自慢気?
つかれた――
でもこの後は鹿島さんと同じ部屋で…でへへ…
ATSIGN
@
松田君 一緒に寝よ♡
な――んて
妄想中
お先に松田君

いいお湯でした

うお〜〜〜

湯上がりの鹿島さん!!

ビール!ビール!

グビグビグビ

プハ〜〜〜クゥ〜 やっぱフロ上がりはビールっしょ〜〜〜

くっそーせっかくの湯上がり鹿島さんの余韻が……

おー皆のぶんも買ってきたから飲も〜ぜー

ダメよ あおちゃん 皆はまだ未成年なんだから!

えー ちょっとくらいいいじゃん

ダメです 私これでも先生なんです!

というわけで これは私と
あおちゃんで処分します
なんか見た目一番飲んじゃ
いけない人が飲んでいるよーな…
ATSIGN

じゃ～オレも
フロ入って
くるかな～
…のぞか
ないでよ♡
すいませんでした

ブォー
KAWA
うーん このドライヤー
全然乾かねーなー
ふふ～ん♪
鹿島さんの浸った
お湯～♪

まつだ!!
ゲ…観音寺(かんのんじ)!?
キャーー
なんだ!? なんだ!?
レイちゃん!?
あ…!
テメーの オレの裸 のぞきやがって
ATSIGN

別に殴ることないだろぉ～～～
こっちだって男女の観音寺の裸なんか見たくねぇ――
フ――の！
フて…
え!?

あ…！
ガ…
あ レイちゃん!?

泣かした
泣かした
泣かせましたね
……
これはお仕置きが必要だな
必要デスネ
え？

んぎっ
ちょ…ちょっと
コレは…？

こんなロープ
どこから？
物置で発見
しました

さて どうしましょう
とりあえず

くすぐっちゃえー
えい
うひっ
うひっ
うふっ

先生はもう
大人れすよ
お酒も飲んれ
いいのれす
うわ
酔ってる…!?
せんせい 子供みたいな
こと ヤメ…

酔ってなんかねぇよな～～～
ういぃ
って あおいさんも
酔っぱらってる!?
ダメだ…
スイ…助け…
ニヤ
ニヤ
って…スイは
アテになんないし…
うわっ!!
しまった。
先生！ こいつ こんなことされて
ボッキレてますぜ
あ ホントだ…
イケナイ生徒さん
なのです
お兄サマ
ドM
ですから
ちょ…違う……
あ…ダメッ
ぴん ぴん
い じ い じ
あ…余計に大きく…
これじゃおしおきに
なりませんよ 先生…
もみ
もみ
うん…す…
すごい…硬い…
あっ
……
どき
どき
う…
ん…
ダラ
ダラ

ドキ
あの…先生たち
何してるんですか？

そくさ
じゃ あとはまかせた
私達はそろそろ
原稿を じゃあ
ヨロシク
ハイ

か かしま
私達はちょっと女の子を
泣かせたおしおきを…

きすきす
あう
どっか…いたい
とか…？

えと…松田君
大丈夫なの？
あ
うん
でも顔
まっ赤だよ…？

今 レイちゃん
連れてきたから
ちゃんと仲直り
して欲しいの
さすさす
う…
うん…
じゃ よろしくね
え？
レイちゃん
うん…
…その前に
ロープほどいて
欲しかったなぁ…
プ
ク…
ハハハ
なんだよ
それ
おしおきって
縛られて…
ROCK
EVERY DAY
ハハ…そっか…
さっきは その…
取り乱して悪かったな…
え？ いや
こっちこそ
ごめん……

まったく
しょーがねーな
ほどいてやるよ
うん…お願い…
あれ？ ここ
どーなって…
そこから腰の
辺りへ…
いニョ
あ これか
ムクムク

って！ お前
なんでこんな時に
興奮してんだよ
だって観音寺が
大きなおっぱい
押しつけるから…
はあ!?
…やっぱり
このまま放っておいた
方がいいかもな
そんなぁ～
ほどいてよ～
冗談だよ 今
やってるだろ

ちょ…観音寺
そこ引っぱらないで!!
バ バカ
動くなよ!!
ビク
わっ!!
ゴゴゴゴゴゴ

ちょ…バカ
オレにまでロープが
絡まって…
ご…
ごめん

何考えてんだよ
ロープほどくのに
集中できねぇだろ
ごごめん だって
観音寺のおっぱいが
目の前で…あたって…

えと…これが
こうなって…
コ…コラ

ノーブラだし
ROCK'N
ピン!
ちょ…どこ
見てんだよ!
あう…ダメ…
動かないで…

…まったく さっきお前
オレのこと男女だって
言ったクセに…
こんなに大きく
しやがって…
そ…それは言葉の
アヤっていうか…
だからちゃんと
謝っただろ
と…とにかく
何とかしないと…
こんな所誰かに
見られたら――
ギン
ギン

わ わかってるよ
コ…コラ…
あ…
松田…お前のが
引っかかって…
…何とかしろ…
ちょ…そんなこと
言われても…
ムリ…
あう…
ぐぐ

んんっ
観音寺の乳首が…汗で透けてる…

あ…
ぷぷっ
んんっ

あ…コラ松田…そんなにこすりつけんな
そ…そんなつもりは……
あ
ビクク
ダ…ダメッ！

オレも…なんか手でしごかれてるみたいな…
コス
コス
あう…
ん……手…？

スイ!!

しーー

しこしこ

バ…バカ

こんなこと観音寺にバレたら…

ズズーー

ズズーー

まつだの…スゴク…あ…熱い…

うあっ

バキバキバキッ

コスコスコス

もみっ

うあ…いっくっ!!

ドクン

くりくり

ううっ

んあっ
あっ!!
ああああ!!
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン

……で
このロープ
どうしよう…

ハァ
ハァ
ハァ

わ わかってるって…たた…髪が…
ロープにからまって…
ててれてってれ〜〜〜
ニャキーン
はさみ——
ブイ
ジョキ
ジョキ
え!?
スイちゃん!?
いつからそこに!?
そういやこいつが出ていくのみなかったな…
ずっといたのか…
今入ってきたとこですよ——
ジョキ
だから何も見てませんよー
そ…そっかー
ならいいんだけどよ…
ジョキ
いやいや

妹!アンドロイド
Sister! Android Presented by Shiki Tanisawa

なんか恥ずかしい形に
日焼け跡が…

重要☆
第18話

白仙社
白仙
先日 連載に向けて
頂いたネームなんですが
残念ながら会議で
OKが出ませんでした
※ネームとは
セリフ・構成
など まとめた
漫画の設計図
のようなものです!
えーと ヒロインの女の子が
幼なじみの男の子に恋心を
抱くストーリーは
良いのですが
その肝心の男の子が
いくら少女マンガとはいえ
夢見すぎ 理想的すぎて…
そ…
そうですか…
close your eyes
周りの現実の男の人を
観察するなりしてですね
もう少し現実味を
持たせて欲しい
ということなんですね

ハァ～男の人を観察してって言われてもなぁ…

身近に男なんていねーし

いやいやいやアイツはねぇーって

また昼間っからいちゃつきやがって！

今日こそ文句言ってやる！

コラ！松田うるせーぞ何やって…

ひらひら
んだ!?
あ あおいさん
こんにちは

昼間っから裸で
Hなことを…!
オロ
オロ
オロ
ち ちがう
よ～～～
ヒソヒソ

クーラーが壊れて
暑いから服を
脱いでただけで…

…確かにこの部屋
あちーな…
もあ

あおいさん 今だけ
あおいさんの部屋に
避難させてもらえ
ませんか？

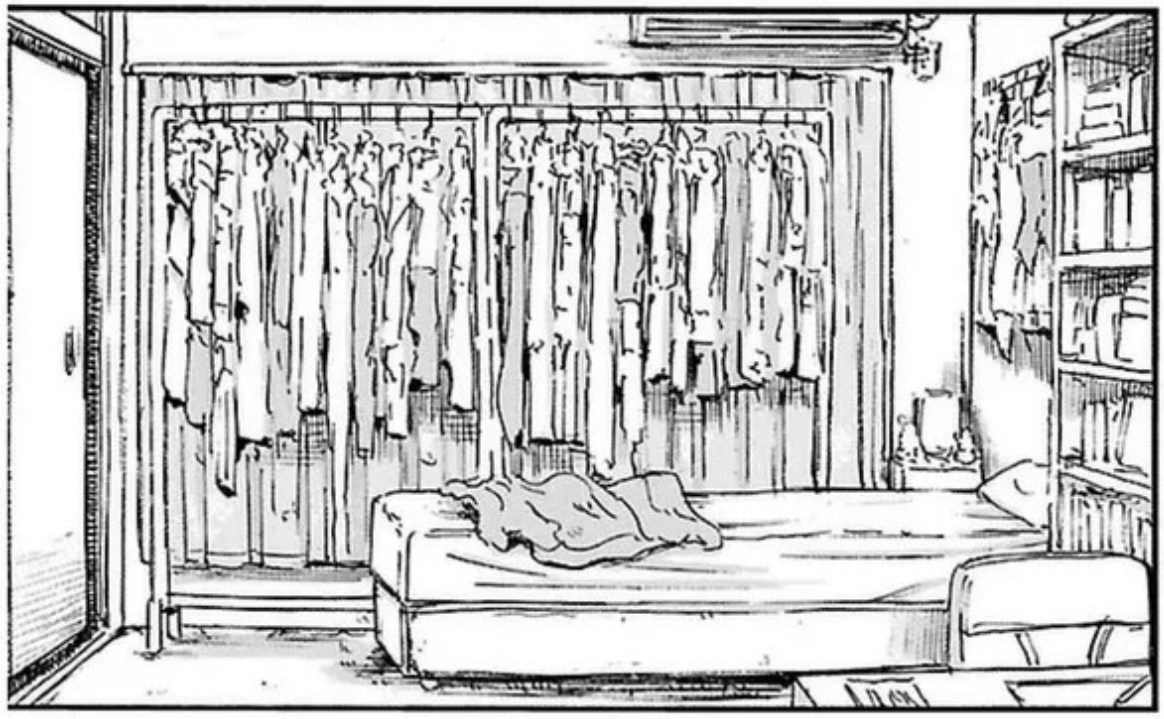
うるる。

え？
ヤダよ

何かできること
あれば お手伝い
しますから

えーもーレよーが
ないなあ～～～～

…やっぱ
あおいさん…
面倒見
いいんだな…



ガチャ

101

おじゃま
しまーす

へー やっぱり部屋の
つくりは同じなんだなー

松田 あまりジロジロ
見んなよ 変なとこ
触るなよなー

わぁ…いろんな
服いっぱい
あるんですね

まぁ…コスプレが
趣味だから…

じゃ――ん
てなわけで早速着てみました――
シャラ ンラ

何が てなわけなんだよ
お兄サマもコスプレしてみたらいかがですか？
え？！いいよ

何かいいものありますか？
う――ん男装用に使う学生服とか？
聞いてねーし

あ 別に女モノでも大丈夫ですよ
お兄サマは女装が趣味ですから
趣味じゃねーし!!
おあそういえば…

んじゃ いきまーすせ――の！

やさしく照らす
月の光
ブルー
ムーン
明るい輝き
太陽の光
レッド
サンシャイン
夜空にまたたく
希望の星
イエロー
スター
キラキラー
三つの光が
闇夜を溶かす
キューティーライト
エンジェルス！

やっぱ男がやると寒いですね
だな——
ひくわー
ブリブリで
お前らがやらせたんだろぉ！
本当はそれ鹿島あたりに着て欲しかったんだけどなー
え!? コレ!? 鹿島さんに!?

いい！
もえ
もえ
それにしてもスイちゃんこなれてるねコスプレしたことあるの？
まぁ ほぼ毎日がコスプレみたいなものですから

あ そういえばあおいさん
プロの漫画家さんなんですよね
まぁ…一応…
やっぱり あおいさんはこうしてキャラになりきってマンガのストーリーを考えたりするんですか？

え？ まぁ…いちいちコスプレしたりはしないけど…
キャラになりきって妄想とかはするかな
でも言われてみれば趣味を活かしてコスプレした方がもっとキャラがつかめるかも
あじゃあ
お部屋で涼ませて頂いてますし 漫画の参考に何かコスプレして
お手伝いしましょうか？
え？
…まぁ もしかしたら男のキャラをつかむ参考になるかも…
じ——
？
じゃあ…今こんな話…考えてるんだけど…
もじ
もじ
…やっぱりちょっと照れるな……

本当…少し前まで普通に毎日着てたのに…
いえいえ お二人とも現役で通じるくらいよくお似合いですよ
…で
スイ…お前は何の格好だよ
決まってるじゃないですか
女教師です
お二人は私の生徒さんです
それじゃ 席についてて下さーい
ファーストレッスンいきますよ
それではまずお互いを名前で呼びあって下さい
私のことは先生で
秋君(しゅう)
あおいちゃんで

放課後の教室に二人きりの設定で！ よ――い スタート!!

…えと…あおい…ちゃん…？

な なに？ しゅ……秋君…？

カアアアア

……

もじ

そわ

もじ

そわ

ハイ カ――ト!! ダメダメダメ 何やってんですか!!

キッ

二人はお互いに意識しあう 幼なじみなんですよ もっと親しげに愛情込めて！

いや そんなのイキナリできるわけないだろ

ハードル高すぎ…

ビシィ

いてぇ！

体罰だ!!

先生に向かって何て言い草です！

でも まぁ仕方ないですね では まず雰囲気から入りましょうか じゃ 学校へ行きますよ

え？ どこの!?

ガヤ
ゴトン
ゴトン

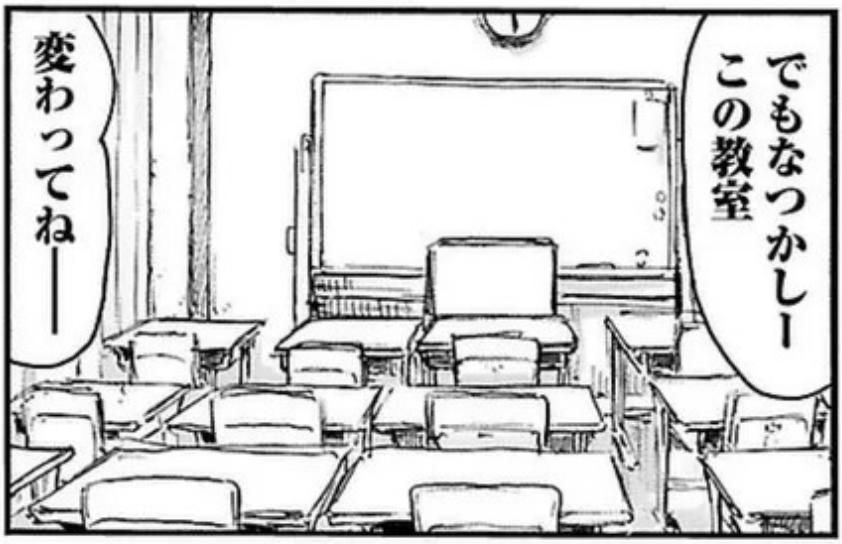
いや…まさかこの格好で外に出るとは……
コレ…一体どんな羞恥プレイだよ
そわ
そわ
そわ
二人とも 何恥ずかしがっているんです
もっと堂々としていなさい
お前はよく平気でいられるなー恥ずかしくねーのかよ
普段の格好に比べたらこんなのお茶の子さいさいです

それより二人ともっと
親しげに！ ちょっと
手とかつないでみたり
え？
……
ガタ
きゃっ
おっと
あ…ご…
ごめんなさい
い…いや…
どきどき
あれ？
どきどき

この胸の高鳴りは…
どきどきどきどき
なに…？
ンガ専門学校
日本アニメマンガ
専門学校

つ…着いた…
学校って…やっぱウチの学校なんだ…
…本当に入るの？
大丈夫です 松田君の通っている学校ですし あおいちゃんもOGなんですから
いや…スイ お前は部外者だろ
キョロキョロ
うう…夏休みとはいえ万が一 鹿島や観音寺それにヒメに会ったら…

はぁーセーフ
ピシャン
知り合いには
会わずに済んだー
210
コミック科


でもなつかしー
この教室
変わってね――

あ このシール
オレが貼ったやつだ
え！ そう
なんですか！
このテキストも
やったなー
最初なかなか
うまくペンで
集中線引け
なくてさ――
あ この前
それ
やりました
それで何度も
やり直し…

どきーん

ドキ
ドキ
ドキ

あらあら 二人とも
なんで離れちゃうの
ですか
ここはムードを
もっと盛り上げて

…そ そんなこと
言われても…
ちらり
何をすれば……
ドキ
ドキ
ドキ

もう仕方ないですねぇ
スッ
例えば……

キス
とか…
んな――!? センセのクセに私の秋君に何してるんですか――!!
んちゅ
んちゅ
んちゅ
あら…実は先生今まで隠してきましたが…
松田君のこと密かに愛していたのです
ガーン
衝撃の展開!!

せ せんせい
そんなのダメ！
秋君は私のモノなんです

ガバッ

あらーあおいちゃん
必死になって
かわいいわね

でも先生にとられたく
ないなら がんばらないと
いけませんよ

秋君たら 先生に
キスされただけで
こんなに反応して…

あう

ビク

ウ ウソでしょ 私の方がいいよね！

うう…

チー

あら
苦しそう

先生が今
ラクにして
あげますね

わ わたしが！

うあっ

ペロ

あれ？ どうしちゃったの……？ わたし……
松田君の…すごく…愛おしい……
んちゅ
ん…
ぺろっ
くちゅ
く…ちょ…そんなこと…

コレ…欲しい…
あうっ
私のモノに…したい…
はぷっ
んっ
くっ

あら あおいちゃんたら夢中になっちゃって…
よっぽどソレが気に入っちゃったのね

んんっ!?

だってホラ
秋君のせいで
もうこんなにトロトロに
しちゃって…
ダメぇ…センセ
そんなこと
言わないで…
くちゅ
くちゅ
んあっ
ダ…ダメです
そこは…あんっ
フフッあおいちゃん もう
ガマンできないみたいね
じゃあ今度は秋君と一緒に
気持ちよくなりましょうか
えと…こう
…ですか？
そうよ そのまま
腰を落として…

アソコとアソコを
こすりつける
ように…そう
はう
腰を動かして
ハイ…先生…
あ…秋君の
…熱い…
んんっ
あ…あ…
学校で私…
こんなこと…
でも…秋君の硬いモノが
私のコリコリした所に…あ
あたってる…

あッ 感じちゃう
まるで本当に秋君と
つながってるみたい
秋君も気持ち
いいみたいですよ
もうバキバキです

ど…どうしよう
こんなの…
気持ちよすぎて
……
あ
カ
カ
カ
カ
カ
ブルブル
はんっ
ビクン
ビクン
腰が…止まんない
よ…センセェ…
ん…っ
ぬぢ
ぬぢ

それでいいんですよ
そのままガマンしないで
う…ぼ…
ぼくも――
セ…センセ…私…何!?
あ…ダメッ…何か…出ちゃう!
ビクッ
はぁ!!

ビク
んあっ！
はぁ
あああ!!
ビク
ビク
プシャアアアア
ビク
ど
ぷっ

これでスイ先生のレッスンは終了です
二人ともお疲れ様でした
ハァ
ハァ
ハァ

白仙社
白仙社

この前のネーム
男の子のキャラクター直してみました

……えーと
少女マンガとしては男の子の表現が生々しすぎてダメですね
カリ

でもこれならレディースコミックの方でやってみます？
え…？
ハイ…
というわけでアオイちゃんの仕事の幅が広がりました

水城雪菜のナンナンラジオ～
お兄ちゃんはどんな夏休みを過ごしてますか？

第19話

――てなわけで来週のメールテーマは夏休みの思い出です
雪菜には子供の頃 素敵な思い出があるんですけど――
雪菜のナンナンラジオ
再生中

はーやっぱり くり返し聞いても良いなぁ 雪菜ちゃんの声…
夏休みの思い出かぁ

脳内再生中

はぁ～あのおっぱいもんだりできたらもっと最高な思い出なんだけどなぁ…
お兄サマ また昼間から変なコト考えてるんですか

お兄サマ どうですか？
妹の浴衣姿は
え!?
なんで浴衣!?
そりゃー
これから
お祭りに
行くから
です
鹿島(かしま)さんと
観音寺(かんのんじ)さんと
オ オレは!?
オレも行っていい!?
ガビーン
えー 妹がせっかく
浴衣姿を披露してる
のに何の感想もない
お兄サマをですか？
どーしま
しょーか
ね――

スイ スゲーかわいい
最高!! 萌える!!

よっ！
ミス妹！

……

お兄サマは
留守番してて
下さい

お願いします
スイ様
連れてって下さい

ハァー 冗談
ですよ

ホラ 行きますよ

やったぁ――

鹿島さんの浴衣姿
絶対似合ってるよなー

そわそわ

もー少しは
落ちついて
下さい
お兄サマ

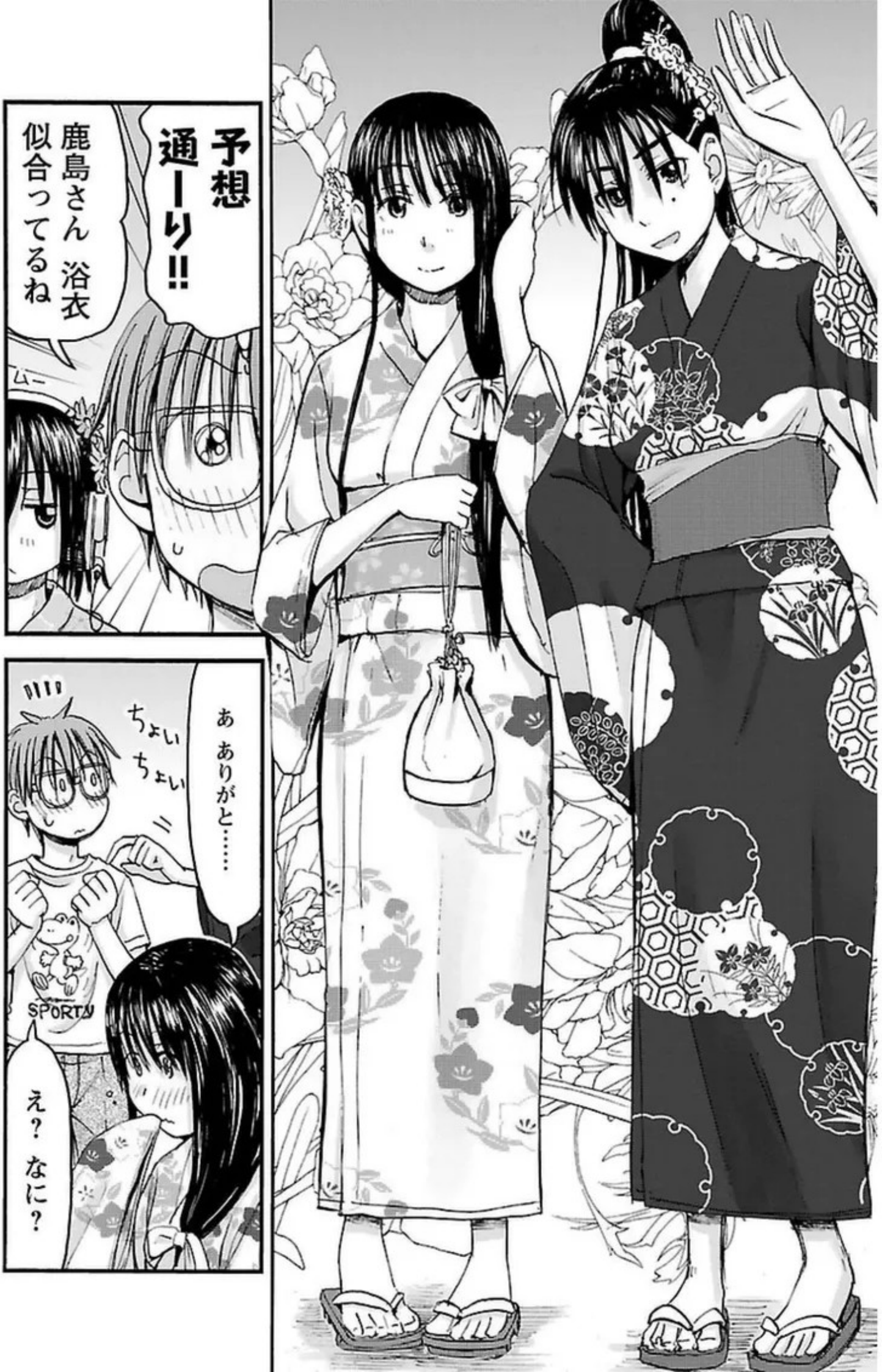
お、あの娘かわいい～

でもなんでヘッドホン？

おっすー
松田――

遅れてごめんね
松田君

ロロロ
キター
！！


予想通ーり!!
鹿島さん 浴衣似合ってるね
ムー
あ ありがと……
ちょい ちょい
SPORTS
え？ なに？

トテモ ヨク
ニアッテマス

わくわく
……？

テメーちったぁ
こっちもホメロ！
せっかく
浴衣着て
きたんだ
ぞ！
あ…
ごめんなさい

テメー 心が
こもってねー
うぐ…
バレた…
ギブギブ
ホントお世辞
へタですね
いいなー二人とも
仲良くて…

……え？
そう？

カランコロン
人いっぱいだなぁー

まず何から食うか——
暑いし まずはチリンチリンアイス食いたいな——

え？ なにそれ
だからチリンチリンアイス……

松田君…残念なお知らせがあります
え？

チリンチリンアイスは青森と長崎にしかないんだって
ショック!
え!? マジ!?
てっきり全国区だと思ってた!
SPORTY
てか なんで青森と長崎!?

ちなみに青森の地域によってはチンチンアイスとも言うんですよ
てか、なんでそんなこと知ってんだ
えっ…
うん…まぁ…
そっかーじゃあ今度青森の実家帰るからそん時に食うかなー
あいいなぁ
私も久しぶりにチリンチリンアイス食べたいなぁ
私も松田君とももやもや〜ん♡
チンチンアイス…舐めたいな…
とか脳内変換してませんでした？
うるせー
人の心読むな！
射的
あ！
あれは！

よし！
シャキーン
あ あのぬいぐるみ
レイちゃんのお気に入りだったやつよね
うん ずっとカバンにつけてたんだけど
どっかに落としちゃってさ

これも何かの縁 絶対GETしてやるぜ！
がんばって！
あれ？
くそっ

えーい くそ！ もう一回！
まいどー
観音寺 下手くそだな——
あ！

あのフィギュアは！
欲しい！と思った時
には完売してて
プレミアが付いてる
オトたんの限定フィギュア！
よし！ オレも
まいどー
フッフッフ…
長年FPSゲームで
鍛えたスナイプを
見せてやるぜ！
パン
そこだァ!!
あ！
落ちた!!
スゴイ
松田君！

レイちゃんに取ってくれたの!?
じぃ〜ん
松田…オレの為に…
え？ あいやぁー
……
くっそー フィギュア…

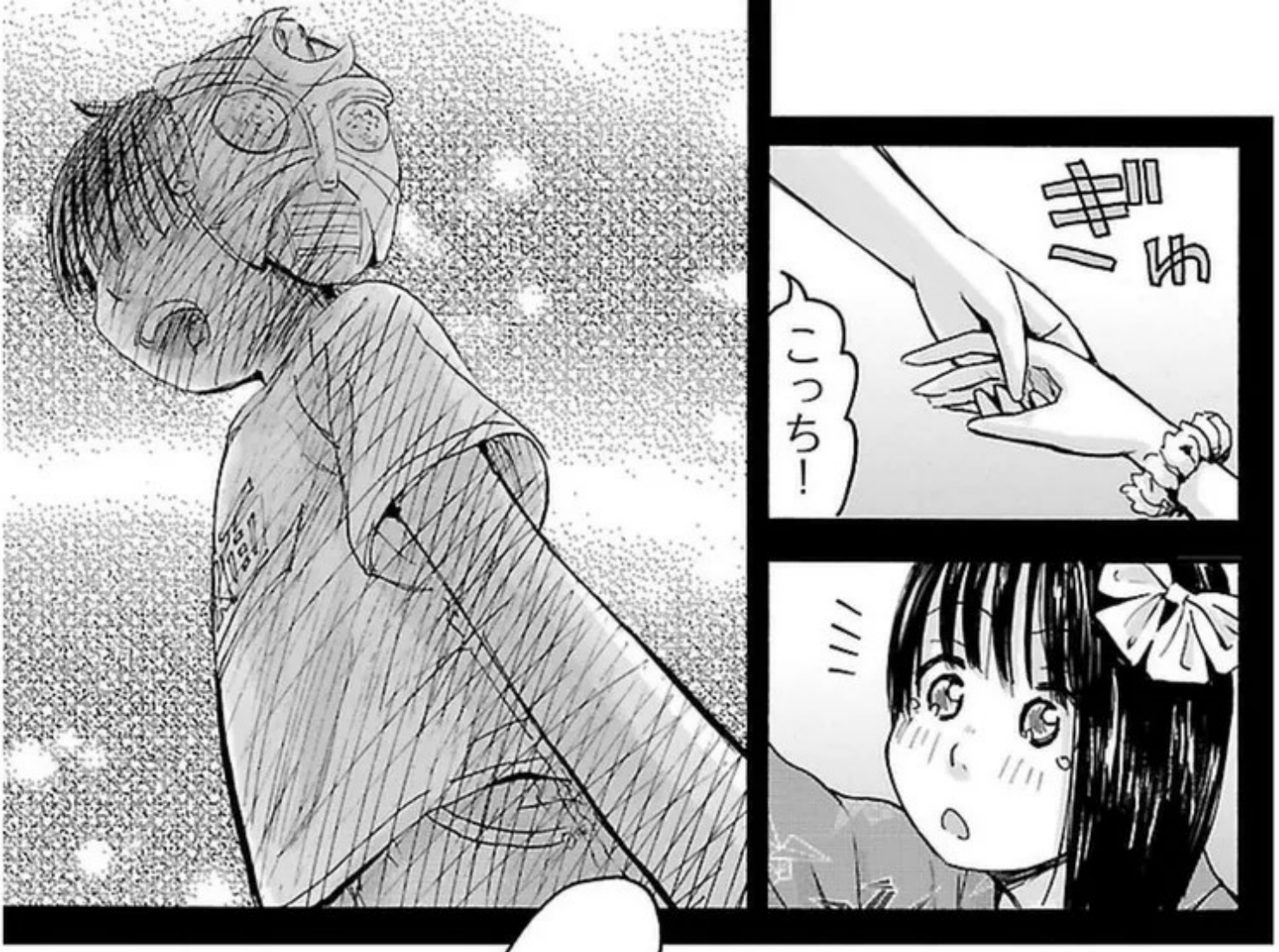
よし お前はマシューと名付けよう！
えーなんでマシュー？もっといい名前ないのー
うっせ——!!

なぐることないだろぉ
今のはお兄サマが悪いです
すくい

今度はさ——
焼きソバとか…
あ…あのお面…
どん
きゃ
あすいませ——ん

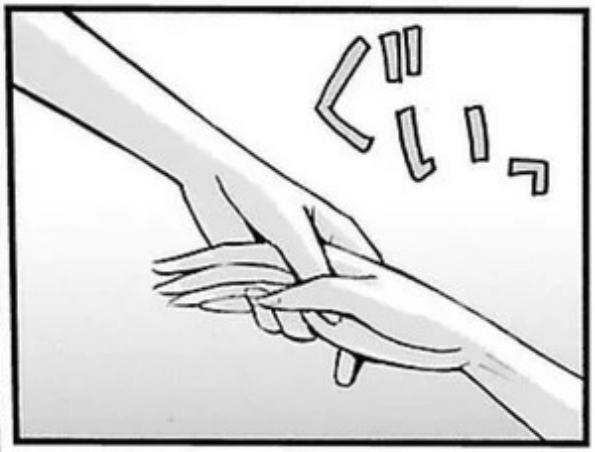
ゆら
ゆら
ゆら

え――んえ――ん
パパ――
ママ――
どこに……
ぴく…


ギュ
こっち！

ドキ
ドキ

鹿島さん
こっち！
松田君！


ぐいっ

ハァ
ハァ
ハァ

大丈夫？
鹿島さん
うん…ありがとう
松田君……

そ そうなんだ
うん
そういえば初めて会った時も助けてくれたよね

ちょっと子供の頃のこと思い出しちゃって…
私が迷子になった時…こうやって お面をかぶった男の子が助けてくれたの…

まぁ そのあと観音寺にオレがチカンしてたと勘違いされて
ボコられたけど…
ホントごめんね

私が満員電車でチカンにあってた時に守ってくれて…

あの時に私…松田君のこと…
あれ…?

まぁあの時は上京したてだったし…いいよ…
でも…その時松田君の津軽弁聞いてものすごく安心した…

真っ暗になっちゃった！
う…うん…

真っ暗闇で二人きり…
あれ…？これってチャンスなんじゃ……？
で…でも鹿島さんになんて言えば…
ゴクリ…

えっ
ドキン
鹿島さん!!
な…なんだ？
そそーっ
ん？
なんだろ？この感触…

この薄い生地
ほんわりとした
温かみ…
まちがい
ない……
これは…
鹿島さんの
おパンツ…!?
てことは…こ…この…
中に…鹿島さんの
…アソコが…
スス…
いいのかな…
いいんだよな…
ピク
んんっ
暗くて…全然見えないけど…
これが…鹿島さんの
この割れ目を辿って…
ドキドキ
この…豆くらい
の突起は…
ドキ
んんっ
やっぱり…
ドキ
くりくり
じゃあ…この下は…
ぬ…濡れてる…
ドキ
こ…これは…汗だけ
じゃ…ないよな…
くちくちくち

オレの手で…鹿島さんが…感じてる……
んっ
フルフル
はっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
す…すごい…ヤバイ…
どうしよう…
ムクムク
ガチ
ガチ
オレ…オレ…
ビクッ
にぎっ
はう!?
か……鹿島さんがオレのモノを…!?
ピクピク
コスコス
ぐちょぐちょ
オレ…スゲー興奮してる…
鹿島さんに触られてると思うだけで…こんな…
んはっ
んん…

もっと…オレ
もっと鹿島さんに
触りたい!!
もにゅ
こ…これが…鹿島さんの
……おっぱい!!
もきゅ
もきゅ
オ オレ…今
鹿島さんの
おっぱいを
もんでる!!
ビク
ビク
うはっ
もみっ
んんっ
やった!!
スゲェ
もみっ
うほっやわら
け~~~
もぎゅ
んっ
鹿島さんの
おっぱい~
もぎゅ
そして…これが
鹿島さんの
乳首……
ぎゅっ
んんっ
コリ
コリ

え!?
や…やった!
はぁ
ついに鹿島さんと
…キス…!!

んちゅ♡
んちゅ♡
んちゅ♡

も…もう
ダメだ…
んふっ
ビクン
んっ
ビクン
で…でる…
はふっ

んああッ
ああんッ
ビクン
ビク
んんんッ!!
ビク
ビク
ドピュ
プシッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
チカッ
あ ついた!

って！ わっ!!
スイ!?
いや～鹿島さんの
おっぱい…思わず堪能
してしまいました
え!?
アレ…スイちゃん
だったの!?
そっかぁアレ…スイだったのか～
そりゃそうですよね～～～
お――い
なんだ こんな所に
いたのかよ――
って！ 鹿島
どーしたんだよ
その浴衣！
そんなに汚して…
まさか！ 松田に
変なコト！
え!? ううん
人ゴミで倒れた時
松田君が助けて
くれたの
え…
…あれ？ でも
スイよりもっと
おっぱい大き
かったよーな…
NO!
NO!

妹!アンドロイド
Sister! Android Presented by Shiki Tanisawa

第20話

夏休み
姉ちゃんの危なっかしい運転で
ブーン
なんとか青森の実家に帰省することができた
のだが……

つかれた――
ぐったり
秋ちゃ～ん
マッサージして～～～

ず～っと運転して疲れたの～～～
がんばったお姉ちゃんを癒して～～～
も～聞いてる～？秋ちゃ～ん
もしかしてスイちゃんのこと考えてたんじゃ……？
ま
まさか

ほんと〜 会えなくて
淋しいとか思ってるんじゃ…
そ そんなはず
ないだろ
でもてっきり
スイのこと
だから
ついてくるかと
思ったケド…
え？
来ないの？
ハイ 私も色々
忙しいので
お土産でも
買ってきて下さい
あ そう
CRAZY CHASE
あ もしかしてお兄サマ
私についてきて
欲しかったんですか？
ニヤ
妹がいないと
淋しいん
ですね
そ そんなわけ
ないだろ

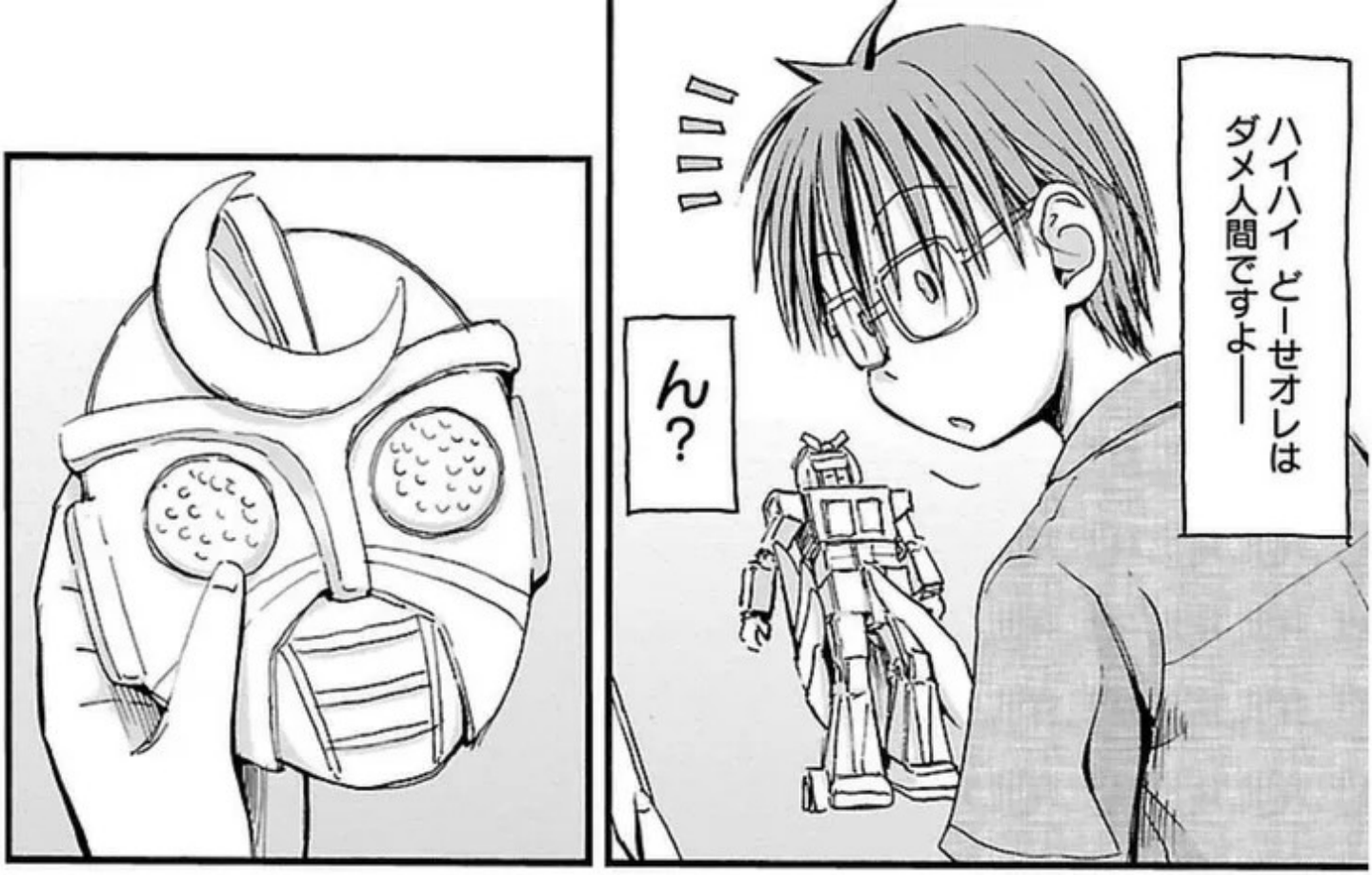
てれてれてってれ――
そんなお兄サマに
妹ラブ
Tシャツ～
妹♡命
私が手描きで
描いときました
これでいつでも妹のこと
感じられますよ
!?
って!
このTシャツ
オレのお気に入り
……ムグッ
ハイハイ着せて
あげますねー

あ! 秋ちゃん何
このTシャツ!
いや…だからこれは
スイがムリヤリ…
妹♡命

コラ 二人して何
じゃれあってんずや
ホラ秋
押入れがら出て来た
アンタのガラクタ

処分してまるがら
いるんだんば とっとけじゃ
えーかっちゃ
今～～～?

千絵 せっがぐ
一人暮らし
させたんだはんで
あんま秋の世話
焼かねんでろ
この子
甘やがせば
すぐダメに
なってまるん
だがら
わかってらじゃー
会いに行ぐの月一回ぐらいで
ガマンしてるじゃよー
……
サソ
ガゴ


ハイハイ どーせオレは
ダメ人間ですよ——
ん？

あ なつかし——
チャンピオン仮面の
お面！
子供の頃 秋ちゃん
好きで よくコレ
かぶってたよねー
…そうだっけ？

そうだよ そういえば
いつだったかお祭りの日に
女の子連れて帰って
きたことあったよね
え？ 女の子？
そうそう
かわいい
女の子で…
何言ってんだかなー

…もしかしてそれって
この前 鹿島さんが
言ってた話だったりして…
鹿島さんも
子供の頃 青森に
いたんだし…
もし…その男の子が
オレだったら……
これって運命
かも……

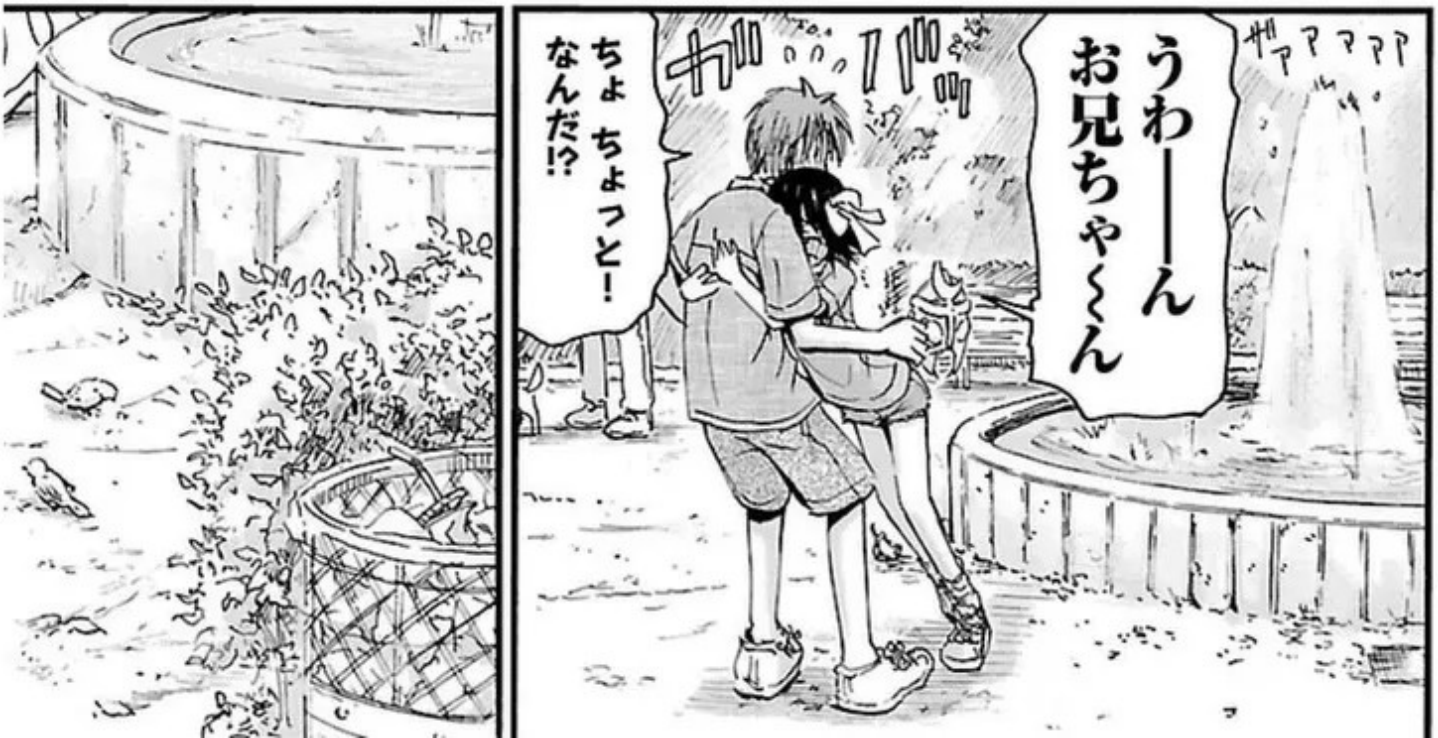
よし ちょっとその辺
出歩いてみるか…
昔のこと 何か…
思い出すかも
しれないし…

そういえば
確かこの辺の
噴水広場にチリンチリン
アイスがよくいた…
は…ず…!?

スイ!?
なんだよアイツ
青森まで来てた
のか
よし
たまにはこっちから
ビビらせてやろう
わっ
きゃあ!!
へへー驚いたかー
オレだよオレ~

え!? もしかして
お兄ちゃん!?
そうそう
お兄ちゃ…
ん？ お兄ちゃん？
お兄サマじゃ？

そのお面……
まだ持ってたんだ
じゃ
えと…
ボロボロ
会えた…本当に
へ？


うわ——ん
お兄ちゃ～ん
ちょ ちょっと！
なんだ!?

え…えと…
落ちついた…？
うん…
ごめんなさい…

私…ずっとお兄ちゃんに
会えないかなあって…

こっち来るたびに…
こうして捜してたの…そしたら
今日…やっと…お兄ちゃんに…
えーと何コレ…
どういうこと…？

ごめんなさい
…また
スイじゃないの？
ど一見てもスイ
なんだけど…
そういや
ヘッドホン
してないし…

雪菜ちゃんの例もあるし…
世の中に三人は似た人いる
っていうし…
いやいやいや
スイにからかわ
れてるだけ？
どっち
なんだ!!

あの…もしかして
お兄ちゃん…私のこと
覚えてないの？
ホラ 子供の頃…
よく一緒に遊んだ
妹の…水音(みずね)だよ
覚えてる
でしょ？

み
水音？
ハイ！ 思い
出しました!?
いや…覚えてる
もなにも……
スイなら
いつも
会ってるし
ホラ 見覚え
ないですか？
あ もしかして
成長したから
わからないとか？
私はすぐ
お兄ちゃんのこと
わかったのに

成長…？
じぃ
もー胸の話じゃありません！
お兄ちゃんのえっち――
ゴ ゴメンなさい
ポカ
ポカ
手リン
手リン

ん～～～
おいしーね
お兄ちゃん

鼻にアイス
付いてるぞ
くっそー スイだと
しても かわいく
見えるな～
え？ あ
ホントだー

えへっ
ちょっと
はしゃぎすぎちゃったかな
ん？ まだ何か
ついてる？
お兄ちゃん

あ…いや…
別に…
くー リアクションが
新鮮だ～～～

たぶんスイなら
あ 今
和和
イヤらしいこと想像しましたね

スイ？
？

……
え――と
本当にスイじゃ
ないの？

うう…なんて
純粋な瞳…
ウソをついて
いるようには
見えない
マジか
…マジ
なのか？

うーんわからない
お兄ちゃん……

よし
お兄ちゃん！
デートしよ！
は？

二人で思い出の場所
巡れば きっと
何か思い出すよ！

だがし・文具
ユアサヤ
うわ——
なつかしー

あ このお菓子よく食べたね——
おこのゲームまだあるんだー

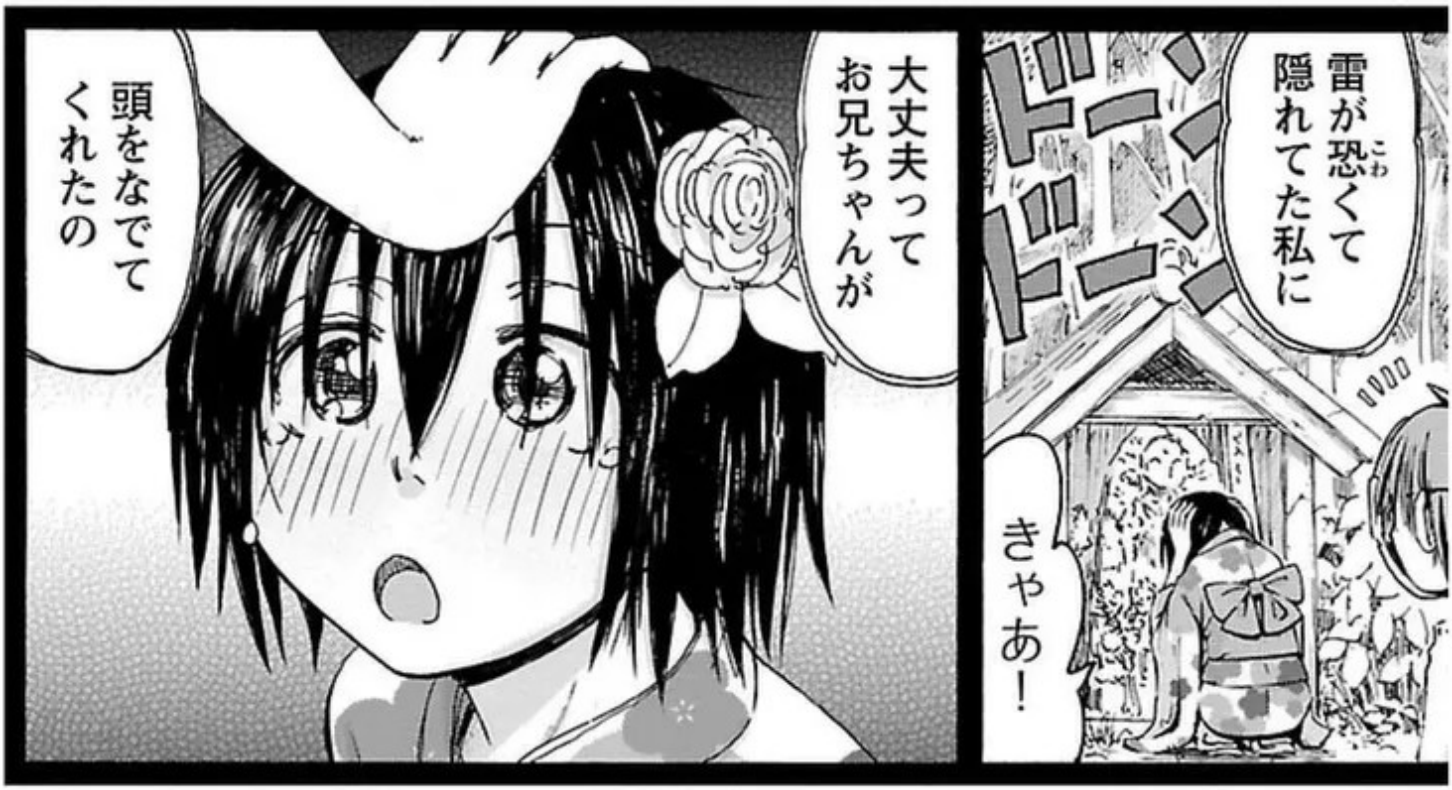
二人でよく一緒にやったよね
いつもラスボスでやられちゃって〜

どーしてもワンコインクリアしたかったんだよなぁ
そうそう
ん？
ドヤーン
ガヤガヤ

あれでも…この娘とやってたんだっけ？
確かに誰かと一緒にやってた気はするんだけど…

わー ここも全然変わってないね――
お兄ちゃん よくここで妹が欲しいってお願いしてたよね
ガラン ガラン
ゲ!? なんでそのことを!?
だって そのおかげで妹ができたって言ってたじゃない
オレ そんなこと言ってた?
ね お兄ちゃん 覚えてる…?
?

初めて会った時のこと
ここだったよね お兄ちゃんが
私に声をかけてくれたの
え…？
お祭りの日…


雷が恐くて
隠れてた私に
ドーン
ドーン
きゃあ！
大丈夫って
お兄ちゃんが
頭をなでて
くれたの

それで
こうして
ぐいっ
私の手を
とって
この林の中を
ひっぱって
くれて

それで私が恐がってた雷の音が
ホントは……
ドーン
ドーン
花火だって
教えてくれたの！

シャッ
それがこの河原！
残念ながら今日は花火上がってないけど

そんなことあったっけ…？
あ――やっぱり忘れてるんだー！ ひどいお兄ちゃん!!
プッ
プッ
私は約束の為に日本一の妹目指してがんばってるのに!!

え!? 日本一の妹!!
何その約束
スゲー知りたい!!
ムー ダメです
お兄ちゃんが
思い出すまで
教えてあげません
そんなー
ヒントだけでも
…お願い!!
……
キラ
じゃあ
一コだけ…
ス

え…と…

これで…思い出した？

お兄ちゃん

ご…ごめん…

もう…じゃもう一回

ん…

ん

んん

くちっ

ん…

くちゅ

ん…

むにっ

スッ

んっ

えっ

お兄ちゃん

もみっ

んっ

これで…今度は水音のこと
忘れないよね
ピクン
ぎきゅん
うおお——かわいい〜〜〜
ガバッ
も もうスイでもスイじゃなくてもどっちでもいい!!
きゃ
ここに理想の妹が…!!
コリッ
み 水音ちゃん!!
ジィ
あん…お お兄ちゃん…
はぁ
はぁ
そこは
はぁ
あ
ペロ
ペロ
あ

水音ちゃん…ココ…こんなにして…
Hなんだ
そ…それは…
コスコス
ピク
お兄ちゃんが…
んんっ気持ち…いいよぉ…
お兄ちゃん…
ツツー
んあっ
はう
お兄ちゃんっ
ピクン
ダ…ダメ…立っていられないよぉ～
んんっ
ピク

はんっ
お兄ちゃん…
あ
好き
大好き

はあ
ビクン
ビクン
んっ
お兄ちゃん
あッ
お兄ちゃんのも
大っきくなって
あたってる…
う…ん…
コス
コス
はぁ どうしよう…お兄ちゃん
お…おしっこ出ちゃう…
あ…ダメッ
お兄ちゃん…
オレも…もう…

ビク
あ！
プシッ
ビク
はんっあッ！
お兄ちゃん
で 出るぅうぅ
ううう!!
ビク
ピシャ
アアア
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
…約束…？

うん 大人になったら
お兄ちゃんのお嫁さんにして！
え？ ダメだよ兄妹は結婚できないんだよ
えー!?なんで!?
さぁ…オレもよくわからないけど…
じゃあ私…妹やめる！
え…それは……
だってー私お兄ちゃんのお嫁さんになりたい！
よ よし！ オレが大人になったらきっと妹と結婚できるようにするから！
SURF
ホント!?お兄ちゃん！
チュ♥
大好き‼
わっ
約束だよ
……あ…この娘は…

きょろ
きょろ
ってアレ？
水音ちゃん？
いない…
お面もない…

…もう少しで
何か思い出しそう
だったのに…
つーかオレ
なんかー
約束を…

その後 水音ちゃんと
会うことはできず
モヤモヤした
気持ちをかかえたまま

東京のアパートへ
帰ってきたのだった
正確には埼玉
だけど…

ただいま――

おかえり
なさいませ
お兄サマ

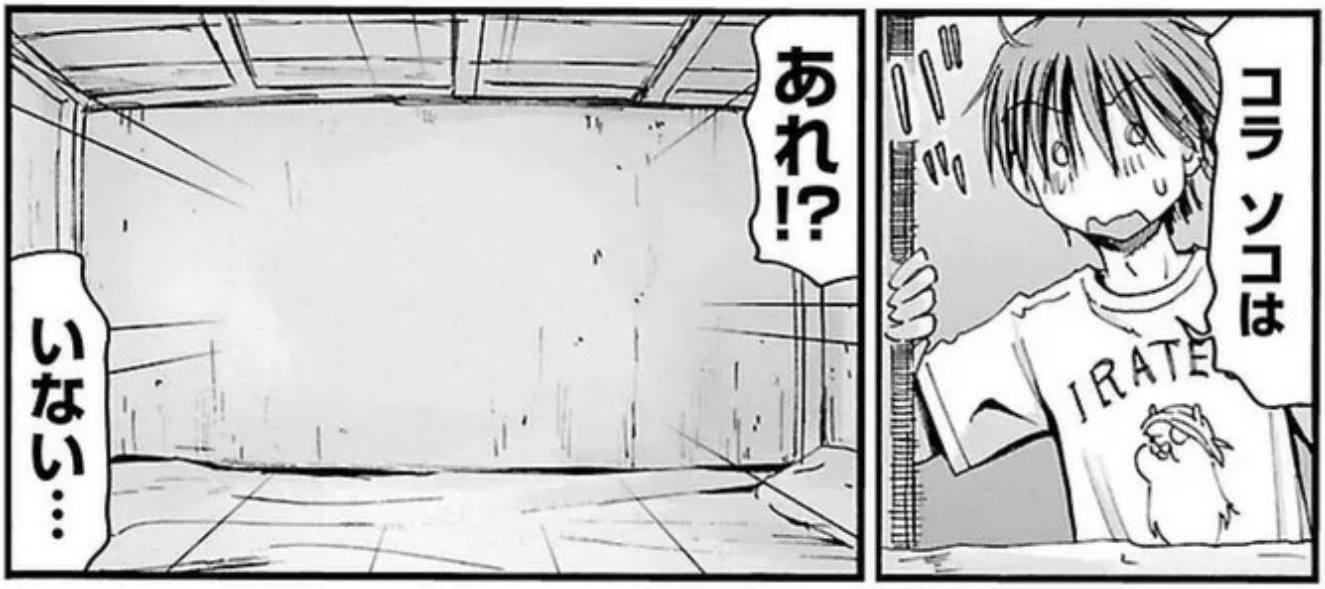
スイ!?
そのお面……
…お兄サマの
思い出の品……
お前…
やっぱり…
なんですよね？
……コレ
ん？
実家から送られてきた
お兄サマの荷物の中に
入ってましたよコレ
ってあ！ 何勝手に
開けてんだよ！

第21話

ガー
IRATES
ガー

カサッ
ん……スイ……？
IRATES
のぞ

え？ ネコ？
なんでこんな所に…？
あ！

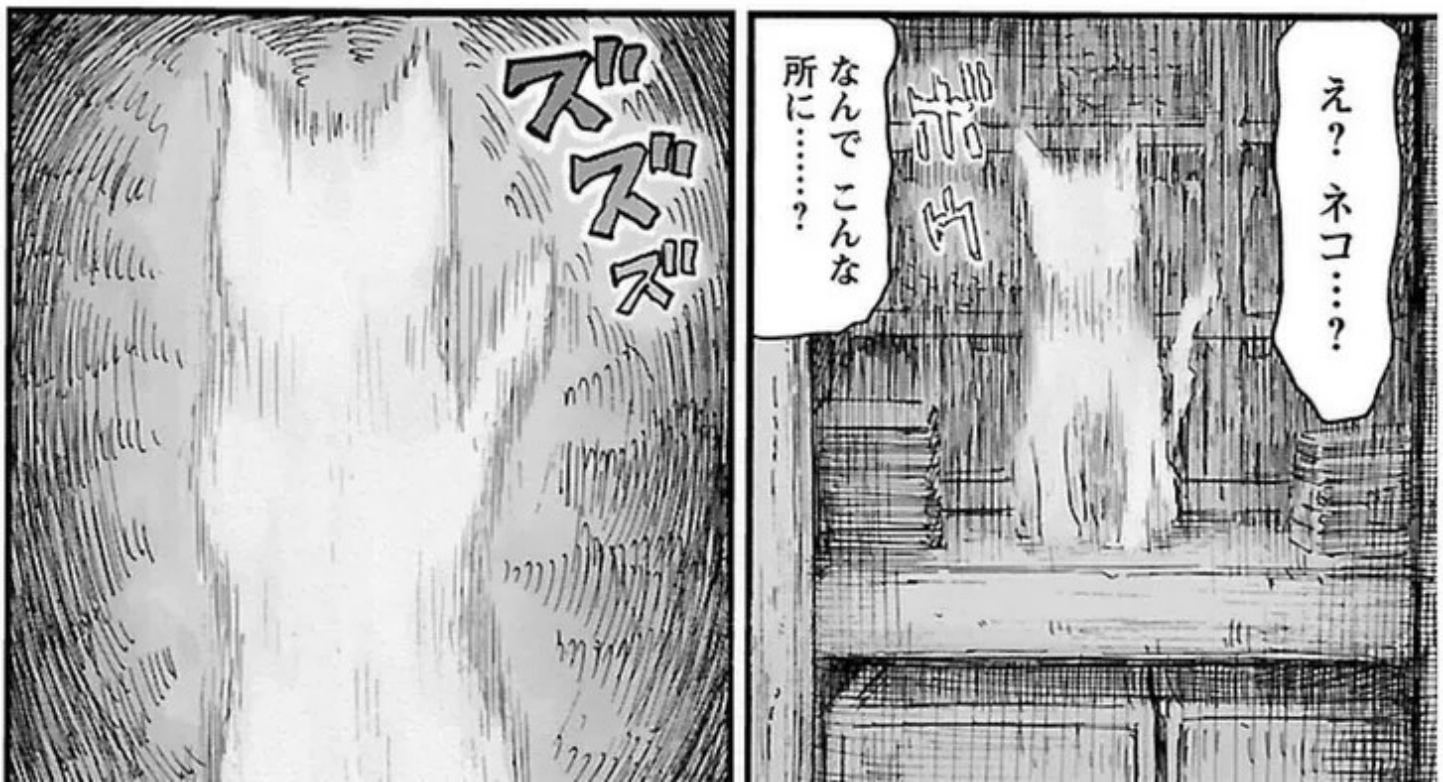

コラ ソコは
あれ!?
いない…

オ・ニ・イ
サ・マ
うわっ
妹を夜這いでも
するつもりですか?
いや…今
ネコが…

押入れの中にっ
ネコなんて
いないじゃ
ないですか
むにょ
妹の寝込みを
襲うだなんて お兄サマには
おしおきが必要ですね
うひっ

…うっせーなー
こんな夜中に一体何を…
…ま まさか
またHなことを…
……

あーもう仕事集中できねーし
今日はもう寝よ
ぱたん


え？ ネコ…？
なんで こんな所に……？
ズズズ

きゃあああ！

あれ…？
消えた…？

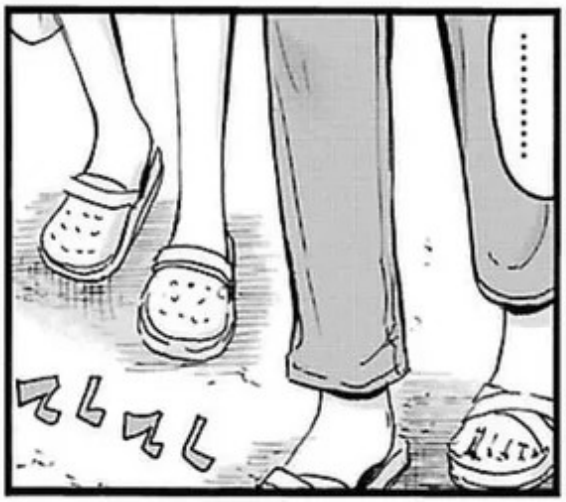
6i
SIX&HOLDINGS

NINE
ありがとーございましたー

あ
こんにちは
TRUE SEAL

ち――す
どよーん
松田
MEET
ROCK
AND
ROLL

うわー あいかわらず
残念な人だなぁ
それとも男苦手だから
無愛想なだけ…？
あぢー
ねみー
ふちゃ
TRUE SEAL


……
てしてし

う…気まずい
…でも同じ
アパートだし…
何か話した方が
いいよな…
TRUE SEAL

あ ネコ
スタスタ

ここら辺て ネコ多いんですかね
ひょん
実はゆうべ オレの部屋に白いネコが上がりこんでてビックリしたんですよ
え？ 白ネコ!?
私も見た 私の部屋で!!
TRUE SEAL
え!? マジですか!?

…しかも そのネコが だんだんと人の形に…
え？
暗がりで一瞬だったから よくわからなかったけど
いやいや〜 いくらなんでも それはないでしょ——
ホ ホント だってば!!
……ちなみに…

その人影って
女の子でした？
え？ 女の子だったと思うけど…？
まさか… 何か 知ってるの!?

あ…いや
ネコミミの女の子なら
ちょっと会ってみたい
なぁ〜なんて
私と一緒に遊んでにゃん♡
コ…
コイツは…
でへへ

まったく
見てないから
そんなのん気なこと
言えるんだよ
実際に見たら
オメーは
ゼッテー泣く！

あ あおいさんも
ホラーとかダメ
なんですか？
いやいや
リアルに見るのは
全然違うだろ
私
ホラーゲームとか
結構好きだし
バイオとか
レイとか
ヒルとか

あ オレも
3までやりました
バイオ
絶対いる
と思いつつ
ドアを開ける
ドキドキが…
そうそう
あるある
あと急に
飛び出してくる
犬とかさー

TRUE SEAL
MEET
ROCK
AND
ROLL

スイ…何やってんだ？
あ お兄サマ

ちょっとお墓を
墓？

ハイ アパートの
屋根裏で
白ネコさんが…
え!?
白ネコ!?
TRUE SEAL

…そういえば
押入れで
消えたし…
あの白ネコ
まさか幽霊…
……

って そんなわけ
ないよな～～～
ないないない
TRUE SEAL
FROM THE NORTH
？
なんなんですか？
二人して…

そういえば二人で
楽しそうに話しながら
帰ってきましたし
いつの間に
そんな仲良しに
なったんですか？
いいや
そんなわけ

きょ 今日はたまたま
コンビニ前で会っただけだし
じゃあなーっ
ガヤー
ガヤ
あ…
うん
やっぱ
変な人
だなァ
ニヤニヤ
TRUE SEAL
バタン
ドキ
ドキ
ドキ
MEET
ROCK AND ROLL

た 確かに私…素で
男と二人きりなのに
フツーに話してた
ちょっと前まで
あんなに避けて
たのに……
ど…どうし
ちゃったの!?

いやー
スイがいないと
課題はかどるなー
キャラ好きに描かせて
くれねーし…
やっぱツインテだよなー
…でもこんな時間まで
スイは外で何してんだ?

ピンポーン
ピンポーン
ビクッ
な…なんだよ
こんな夜遅くに…
こ…こえーな…
スイ…か?

え!?
あおいさん!?

あの…どうかしたんですか?

わっ!!

で 出た!
化け猫!!

こ…恐くて一人じゃ眠れないの!
お願い 今日はあんたの部屋で寝かせて!!

ドキ
なんて大胆なことを…!!?
ドキ
TRUE REAL
HELLO, MY NAME IS
POST
こんな夜中に男の部屋で一緒の布団に!?
うわ——
うわ——
うわ——
ドキ
って アレ!?
冷静になってみたら私
い…いやまてまてまて
そ そうよ ここにはスイちゃんもいるはず…!
あ…あの…スイちゃんは?
あ スイは今いないみたい
へ!?

んな なんです
と～～～～～～!!
いやぁアイツ
よくわかんない
奴でさー
まぁしばらくしたら
ひょっこり出てくる
と思うけど
はぁ～!? 妹
だろぉ～～～～
ど…どうしよう……

NAME!
し しかも…私…こんな
無防備な格好で……
こ…これでは犯されても
文句いえない…!!
もじゃもじゃ

ついに…私も…
ヒラ
ヒラ
ヒラ
処女喪失!!

や…やっぱり
イタイのかな…
ドキ
ドキ
ドキ
松田…ちゃんと…
優しくしてくれるかな…
うん…

チラ
ドキ
……
……アレ…?
襲ってこない……
ドキ

ま…まさかこの私に女としての魅力がない…とか……？
ど…どうしよう…ちょっと確かめて…みる…？
わき
わき
寝返りするフリして…さりげなく…触ってみるとか…
ピク
もみっ
え!?
キタ〜〜〜〜〜!!
ど…どうしよう…
わし
わし
いざとなるとどうしていいかわからない…
と…とりあえず…
そお
お返しした方が…？
…ん？ あれ？ ちょっと待って
もみ
もみ
おかしい…なんで後ろから手が……

ピっ
ピっ
チラ
ね
猫耳～～～!?
ま まさか猫の霊が
私を追いかけて…?
カミ
た 助けて～～～
!?
あ…あおい
さん…!?
うる
うる
あおいさんが
瞳をうるませて
切なそうにオレの
アソコをいじくってる!
ど…どう
しよ…
ゴクリ…
オ…オレ…
もう……
TRUE SEAL

スイ!?
しかも
猫耳!?
お前 また何
考えてんだよ～

ま…まつだ
猫の…
お化けが…
う…うん…

松田…離れないで…
だ 大丈夫だから
あ！ ダ ダメ
んあッ な なにこのお化け…
すごく…
あ
上手…

な…なに!? この感覚…
もみ
もみ
すごく感じ…ちゃう…!
ぐぃ
ぐぃ
ま 松田の
アソコも…
コス
コス
スリ
スリ
ガチガチになってる……
ど…どうしよう…
あッ
ビクン
でも…離れられないし…
口

あッソソコ
ダメッ
ぬちょ
ぐちょ
だけど…このままじゃ
お化けにイカされ…ちゃう
そ…そんなの
イヤ……
ハァ
ハァ
どーせ
なら…
コリコリ

松田に…
ビク
ビク
はぁ

か…かたくて…あつい…
……入れてみたい…
コスコス
ぁ

そしたらもっと…気持ちよく……
スルッ
あんっ！
ぐにっ
ぐちゅ

ダ…ダメッ
きゅうう
ちがう…指じゃヤダ…そんなのでイキたくない…
んあ！
ズブ
ズチュ

松田のが 松田のが
欲しいのに……

ぬぢっ

ぬぷっ

ダメッお化けに
イかされちゃう…

イキたくないのに…

ラメッ
イ イク！

イッ
ちゃう！

ビクン

ビク

くあッ

ビク

ビク

ぷっ

ど

ああああッ

ビシュ

プシュ

プシャアアア

ああ…もう私…
どうしちゃったの…？
TRUE
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

んで？
なんなんだよ
その猫コスプレ…
TRUE SEAL
お兄サマがネコミミの
女の子に会いたいって
言ってたにゃん

えと…まぁ…確かに
言ったけど…
猫型ロボット
スイ
あのしっぽ
どうやって
動いてるんだ？
なぜ知ってほぃ…
ん…
あれ…？
スイちゃん…
…なんで
猫耳…？

ネコの幽霊!!
あ、いや これはスイが勝手に…
にゃ――♡
う――ん
コテン
え？
あ！
HELLO NAME
POST
その白い猫!!
ナーオ
死んだんじゃ？
あ また入って来ちゃったんですかにゃ？
どうやらこのアパート通り道にしてるみたいにゃ
この前はあおいさんの部屋にまで…
あのお墓は？
お墓…？ ああ…あれは
このネコさんが捕えてきたネズミさんのお墓ですにゃ
ニャ――

妹!アンドロイド
Sister! Android Presented by Shiki Tanisawa

第22話

うおお

明日のプール 何を着てけばいいんだぁ～

松田はどういうのが好みなんだ？

やっぱかわいい服とか…

まさか…鹿島が来れなくなるとは……

ごめんね

急用が…

スイちゃんも来れるかわからないって言ってたし…

…オレと松田の二人きり……

デート……

う！ いやいやんなわけねぇーじゃん

ただ泳ぎに行きてーだけだし！

ミィーン
ミィーン
あぢ〜〜〜
ハァーまさか鹿島さんが来れないとは…
ハァー 鹿島さんの水着〜〜〜〜
おまたせ〜待った？
えと…
ど…どうかな…？
え？ どちら様ですか？
おまちがえでは？
わ 私だよ
観音寺……
え!? なんで女装してんの？

オレは女だ——
ドカッ
ゲフッ
もう勝手にもろ
バカ!! 帰る!

女子更衣室

あーあ メガネ
壊れちゃいましたね
でも今のは
お兄サマが悪いですよ

ハァーまたやっちゃった～～～
なんで口より先に手が出ちゃうかなー
せっかくおしゃれして色々考えてたのに…

いえいえ悪いのはお兄サマです
え!? スイちゃん来てたの!? …見てたんだ…

まったく女の子がせっかくかわいくオシャレしてきたのにあのリアクションはヒドイです

私からもお兄サマに反省するようきつく言っときましたから
今度は新しい水着でお兄サマをドギマギさせてやりましょう
う…うん
お兄サマ

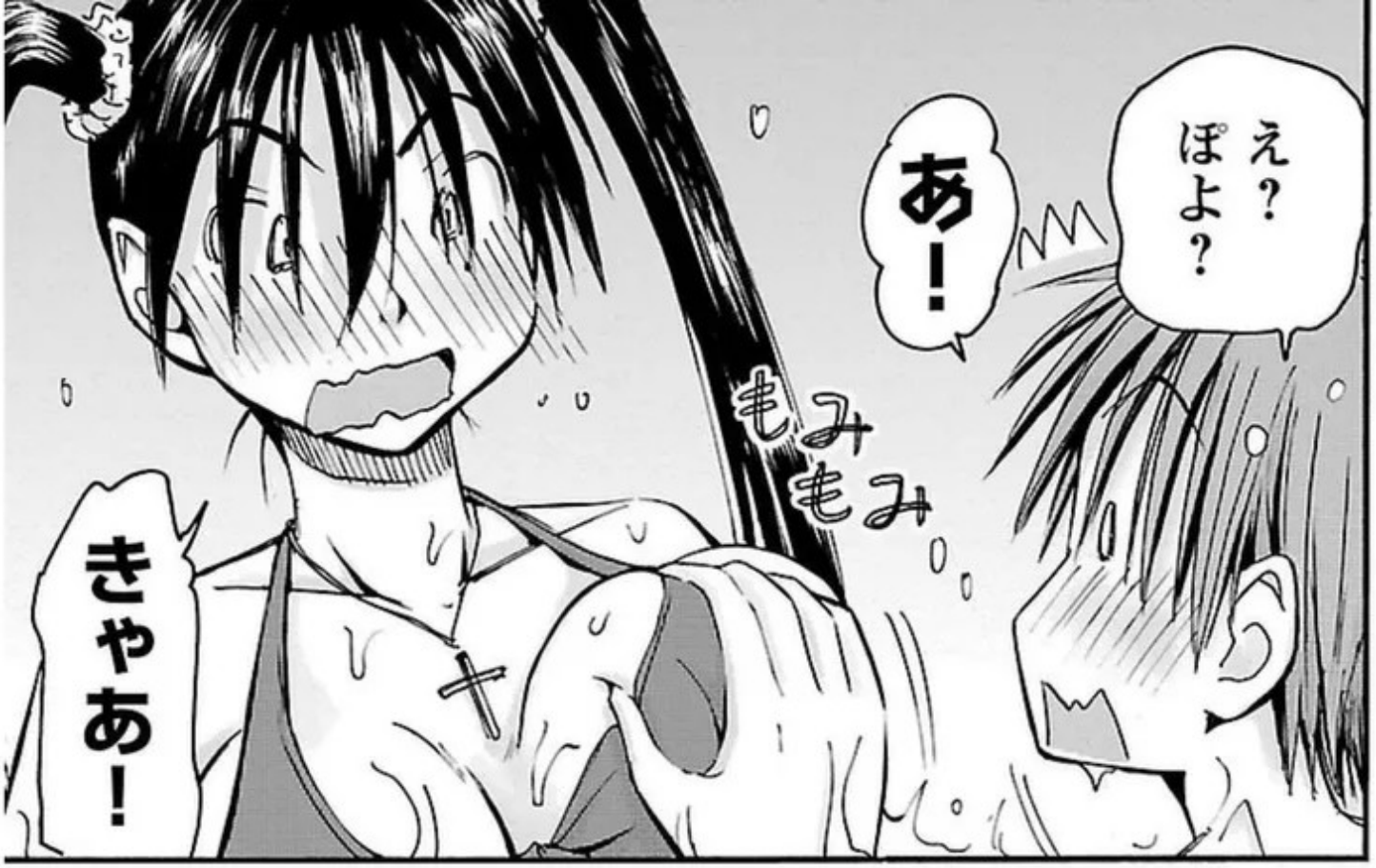
どうですか？
妹の新しい水着は
あ ゴメン
メガネなくて
よく見えない
とりあえず
正面向いて
くれる？
向いてます
ケド
す…すいません
コンタクトも
なくて……
あれ？ 一緒に
いるのは
どちらさん？
お前 さっきも…
えと…
御前崎
さん
私の友達でさっき
たまたま会ったんです

え!? スイの友達!?
ハイ せっかくなので一緒に…
キリッ
あ どうも松田です
え? あ どうも…
うはー スイの友達かー
これはスイの色々聞き出すチャンス!
ぐへへ
それにしても御前崎さん
おっぱいでけー

ちょ ちょっとスイちゃん
ヒソヒソ
なんでこんなこと…?
お兄サマがあまりにドンカンなので
せっかくですから気付かれるまで別人のフリしてみましょうよ

え そんなこと… うまくいくかな…
大丈夫です お兄サマ その辺もニブイですから
それに別人になってみるのも楽しいですよ
お兄サマの意外な一面も見られたりして

ワイワイ
ガヤガヤ
バシャ
バシャ
パシ


え？
ぽよ？
あ！
もみ
もみ
きゃあ！

うわぁ
ごめんな
さ～い
この…

いかんいかん また
殴ったらくり返し…
ガマンガマン
もぉ～
松田君の
えっちぃ～
…おっぱい
やわらけ～

スイちゃんは
泳がないの？
気持ちいいよ
私…身体が水に
浮かないんですよね
こんなこと言って
コイツ本当は
泳げないんですよ
泳げます

えいっ
ガバッ
ただ浮かばないだけです
うわっ
な…し…沈む…
ポポ
ゴゴ
プカリ
プカ…
これぞ必殺「妹潜スイ艦」
ハァ――疲れたー
REST
アレ？ スイは？
あ 今カキ氷買いに…
あ そうなんだ…
……
チラ

ううん…メガネさえあれば…もっと良く見えるのに…
スゲースタイルよくて美人風なのに…
熱い視線でオレのこと見てる…
なんか身体が熱くなってきた……
……
ま…松田が…
あの…ツインテールかわいいですね
どきん
え？ あ ありがとう
なんだよ さっきは何も言ってくれなかったクセに…
そういえば 松田君てさ
でへへ

どういう女の子が好みなの？
やっぱり大人しくて優しい娘とか？
え？ えーと……趣味のあう娘がいいかな…
スイちゃんは？ずいぶん親しいみたいだけど

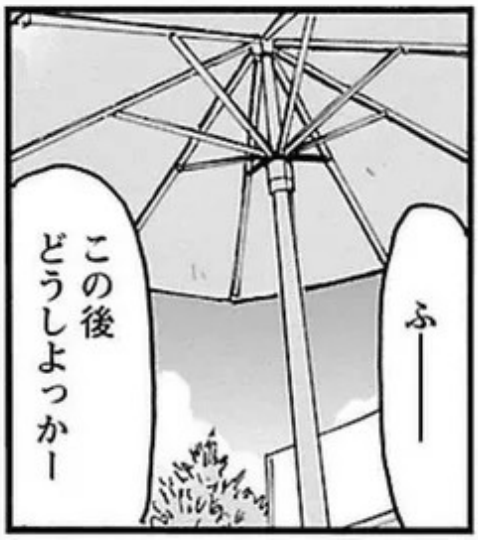
スイ？ スイは…まぁ「妹」…みたいなもんかな？
妹…みたいな…ホントにそれだけ？
う…うん 他には何もないよ…
えと…そういう御前崎さんはスイとどういう関係なの？

もしかして御前崎さん声優……とか…？
え？ 声優？
ううん違うよ
えと…友達の友達で…一緒にバイトして…
え!? バイト？どんな？
んと……
ど…どうしよう…メイド喫茶のこと言ったらバレちゃうし…

お兄サマ？
ギク
えい！
ん!?

ぐおおっ
ぱく
まったく
私のいない
隙に何を聞き
出そうと…
あ 松田と
間接キス…

あ 御前崎さんも
一口食べます？
ハイ
どーぞ
ぱくっ
冷たくておいしーですよ


ふ――
この後
どうしよっかー

じゃあ
次はウォーター
スライダー
行きませんか？
キャー
ワー

きゃあああ！
え？ 松田…君!? まだこんな所に!?
ま 前がよく見えなくて…
ひゃう!!
あ！
のわっ!?
ま…松田…君 ソコは！
動いちゃダメぇ

ザパーン
ドボォ
プハッ
わしっ
あ
ばふっ
え？
もみっ
きゃああ
ご…ごめんなさぁい！
バチーン
どうしたんですか？
み…水着が…！
わかりました
水着は私が
捜しますから
お兄サマは
御前崎さんを
人目のない
所へ…
う…うん
ヒリヒリ

ちょ…松田君…
そんなに前屈みに
なったら…
その…見えちゃう…
う…うん…
むに

あんまり…私から
離れない…で…
ピト
ご…
ごめん…
う…でも背中に
当たるおっぱいの
感触でアソコが…

…あの さっきは思わず
叩いちゃって…ごめんなさい
え？ いや
あれはオレが
悪かったし…
ピンピン

やっぱり乱暴な
女の子は嫌い…だよね…
いや…そんなことは…

オレの友達にもそういう人いるし
実はさっきも
怒らせちゃったんだけ…
ビクン
どお!?

え？
あ いや…
観音寺(かんのんじ)って いうんだけど…
スイ!?
またお前… こんな時に…
さわ さわ
レーっ
そ それで 松田君…は その観音寺って人のこと
どう…思ってる…の？
どうって…
ペロペロ
スリ スリ
サ サッパリ…して…
う…まぁ… 激しい…とこ あるけど…
誤解だった時はちゃんと 謝ってくれるし…
ちゅぽ
ちゅぽ
これからも…ずっと 一緒にいられる よう…な…
じゅぽ
き 気持ちいい ……奴だと思う
ぐっぽ
そ そうなんだ
あれ？ 松田君… どうかしたの？
プル
顔ま赤…
プル

いや…これは…
あれ!? スイちゃん!!
ハイ 水着見つけてきました
ありがと——

どーぞ 私たちが見張ってますから
今のうちにつけちゃって下さい
ぐいっ
ぐいっ
なんですか? お兄サマ
ん…
顔まっ赤ですよ

やっぱり御前崎さんの爆乳が気になるんですか?
え!?
う…それは……
でもダメですよ お兄サマ
今は私の方を見て下さい
ぐいっ
シコ
シコ

ズチャ
ズチャ
ラ…
レロレロ
ク…

ホラ せっかくですから
私の新しい水着も
よく味わって下さい
ちゃぷ
ズズ…
ラ…

どうですか？ 私の水着
いいでしょう？
スリ
スリ
ぴと

ハァ
ハァ
ヤ…ヤバ…イ
ヤバイくらい…気持ち…いい…
ハァ

うは…スイの…水着が…
こすれて…
腰が…動い
ちゃう…
フリフリ
ちゃ
ちゃ

んぐっ ダメッ
でちゃ…う…
も…もう…
あぐ
じゃぷじゃぷ
ビクビク
んんっ
ビクン
んぐっ
んあああ!!
ぐんん
びゅる
ガクガクガク
びゅくびゅく
びゅく

よし
終わった！
こっちも
終わりました
え？ 何が？
わ
松田…君？
どーやら精魂尽き果てたようですね
え？
オレの為に
そんなに？
あれ？
御前崎
さんは？
あ
彼女なら
先に帰り
ました
そっか…
まだ聞きたいこと
色々あったのに…
ランド
松田！

観音寺……

その…悪かった…ゴメン…
さっきは…殴って
メガネ壊しちゃって……

ごめん…オレも
悪かっ…
あ！

ばっ
うわっ!!

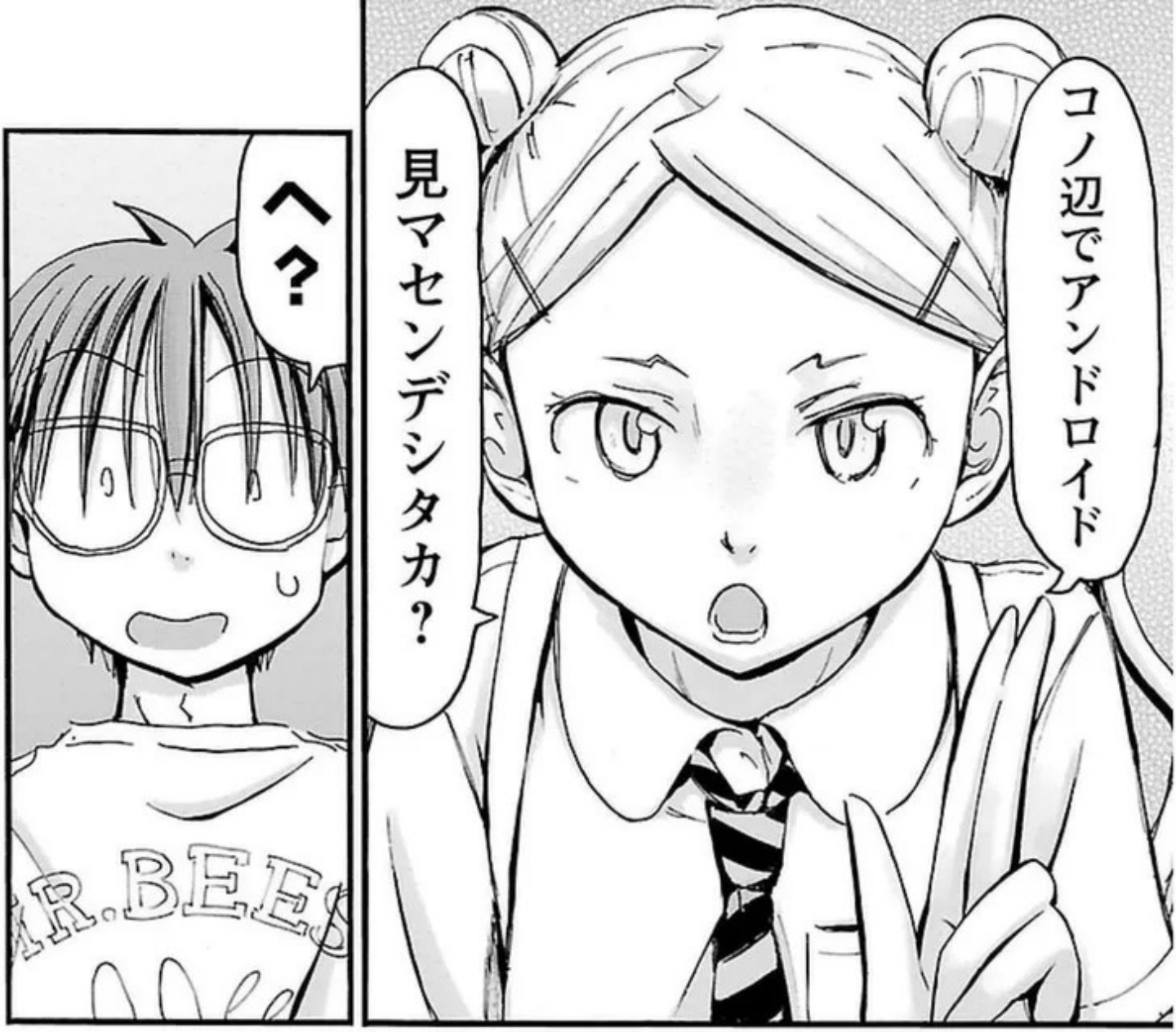
あ、ごめん
良く見えなくて
どこ触ってんだ
バカ――ッ!!
ゲフッ
あ、一番星…

第23話

ありがとー
ございましたー
あぢーー
おっ
うわー外国人の
女の子だ
スゲーかわいい
うわっ ヤベ
目が合った

ど…どうしよう
こっち来た…
あせ
あせ
ポロ
とととと…
オレ…日本語しか
しゃべれねーぞ…
うわー 近くで
見てもかわいい
フィギュアみたい

ハロー スミマセン
ちょっとイイデスカ？
え？ あ
ハロー
ホッ 日本語だ
良かった——
オタズネ
シタイノデスガ
ハイ
ハイ
道にでも
迷ったのかな？


コノ辺でアンドロイド
見マセンデシタカ？
へ？

アンドロイド？
あ～～～人の形シタロボットデス
そうデスカ
あ……イヤ……
そういうことじゃなくてね……
うわ――っこの娘に美少女なのに残念な人だ――!!
ガーガー
見なカッタデスカ…

ふう
なんだったんだ…？あの娘
……
名刺
ぱんこ
MR.BE

え――とじゃじゃあ…
そそくさ
オカシイデス情報ではコノ辺なのデスガ…

アンドロイドって…スイのことじゃないよな…
妹型
アンドロイドですから
……
まいっか
どっちにしろあまり関わりたくないし…

ミーン
ミーンミーン

ただいま――
ガラン
おかえりなさいませお兄サマ

いやーさっきスゲーかわいい外国人の女の子がいてさー
でも 変な奴で……

って！
ここにも変な奴いた――!!
すい改
ウィーン
……何やってんだよ…スイ
よっこいしょ
あとーも
起動実験中に転倒したら自立できなくなりまして
でもコレ懐かしくないですか？
さっきたまたま発見しまして
ついでに少し改造してみました
よりロボットっぽくなったでしょう
なぜ自慢げ？
あもしかしてさっきの娘…
スイの友達とか……
ウィーガチャン
周心ニオイがする…
すい改
ウィーガチャン

スイって外国人の友達いる？

……なんです？いきなり

ピンポーン！

あの…サッキ コレ落としマシタ

あ 学生証！

あ！

？

あいやあありがとうございます

どういたしマシテ

わざわざすみません

ハイ…

コンニチハ

あ…！

さっきの変な外国人さん!?

アンドロイド!!
あ
ガオ――!!

フッフッフ…やりますね
私がアンドロイドだと
一目で見破るとは…

…いや――
本当になー

ツイに見付ケタ
人類のテキ!
覚悟するデス!

フッフッフ…
返り討ちにして
あげましょう

とお！
ハア
え？
すい改
MR.BEES

受けテ見ヨ！
必滅！
破砕拳

ロケット
パアーンチ！

キャッ!!

あ

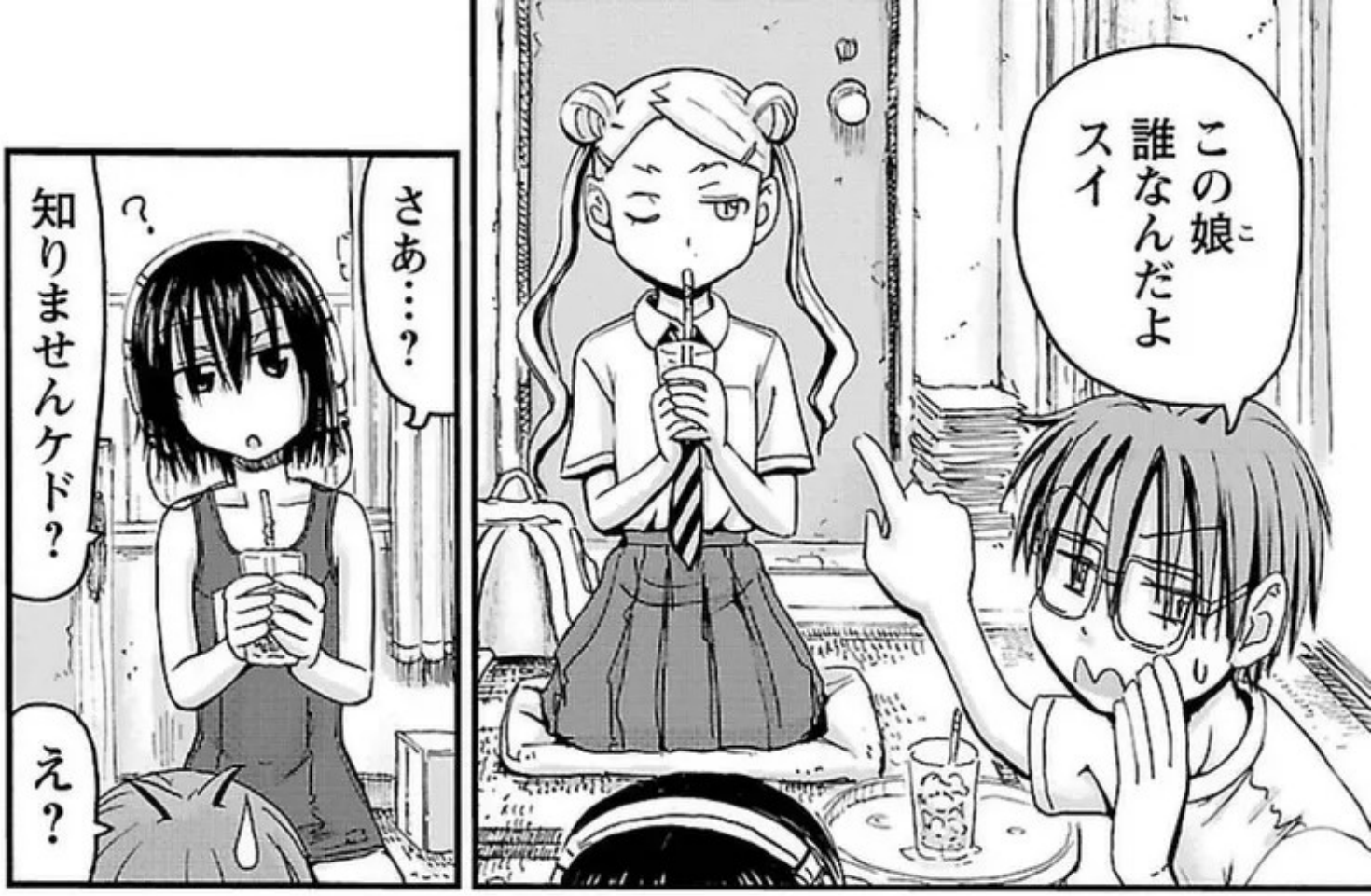
ゴチ

ぼたん きゅ

んで…？
MR.BEES

ヒリ
ヒリ
ズズ…

ヒリ
ヒリ
ちう


この娘
誰なんだよ
スイ
さあ…？
知りませんケド？
え？

え？ だってさっき二人ともノリノリで戦闘シーンやってたじゃん！
なんかアンドロイドの話も通じてたし！
そんなこと言われましても
ご本人に聞いてみては？
……
スイ

…あのう…どちら様ですか？
フッ…仕方ありませんね詳しくは話せませんが…
私の名はルコラ 実は未来からやってキタ
エージェントなのデス！

うわー やっぱり
痛い外国人さんだった——

しかも自分から
語りだしたー

この時代に開発されたアンドロイドが
発達シテやガテ反乱を起コシ

人類は危機におちいリマス
私ハその歴史を変える為

情報を元に この辺に潜伏
しているというアンドロイドを
秘かに探っていたのデス

えー 結構
目立ってたケド

しかも
どっかで
聞いたような
ストーリー

ところでオマエは
なぜ人間なのニ

アンドロイドを
かくまっているのデス？

え？ 別にそんな
つもりじゃ……

勝手に押しかけてきて
住みつかれただけ
だし……

だったら私と共に
戦いマショウ！

アンドロイドを
追い出し 自由を手に
入れるのデス！

フッフッフ…
残念ですが そうは
いきません

何!?

お兄サマは既に
私のモノなのです
なっ!?

何を言ってるデス
私は別にこの男が
欲しいわけデハ…
だいたい
「オニーサマ」とは
なんなのデス!!

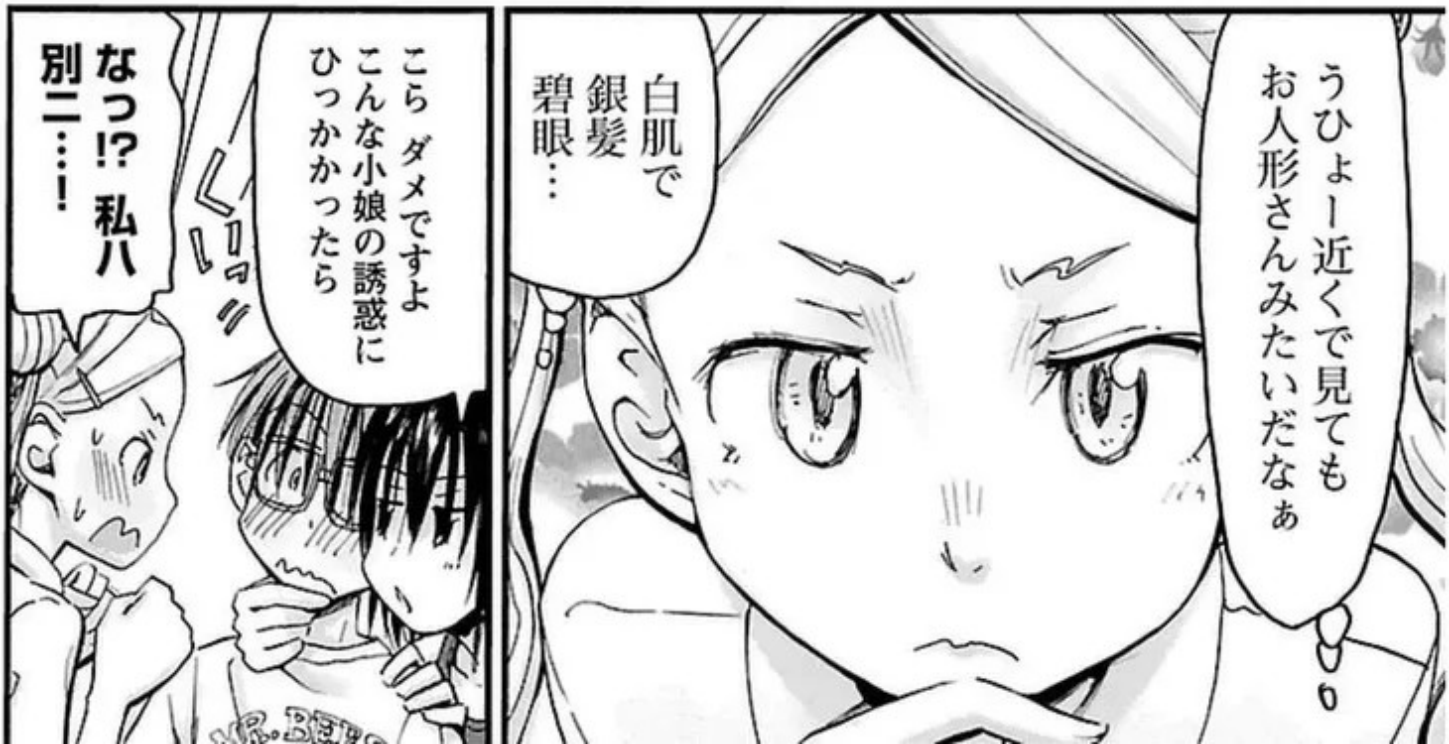
お兄サマは
お兄サマです
そして私はお兄サマの
理想を形にした妹型
アンドロイド
なのです
スイ

ええっ!?

バ…バカな…
「オニーサマ」とやらの
為にアンドロイド
ヲ…?
なぜお兄サマ
まで驚くの
ですか
だってオレの理想と
全然違うじゃん
スイ

も…もしや「オニーサマ」とはそんなにスゴイモノなのカ…？
何を言ってるんです私はお兄サマの
完璧な妹型アンドロイドじゃないですか
この冴えない男が歴史を左右するホドのキーマンだとでもいうのデスカ!?
オレの理想の妹はこんなことしないの！
M.R.BEES

…シカシ…この男ノ一体どこが…？
どう見てもダメ人間にしか見えマセン…
あの…何か？

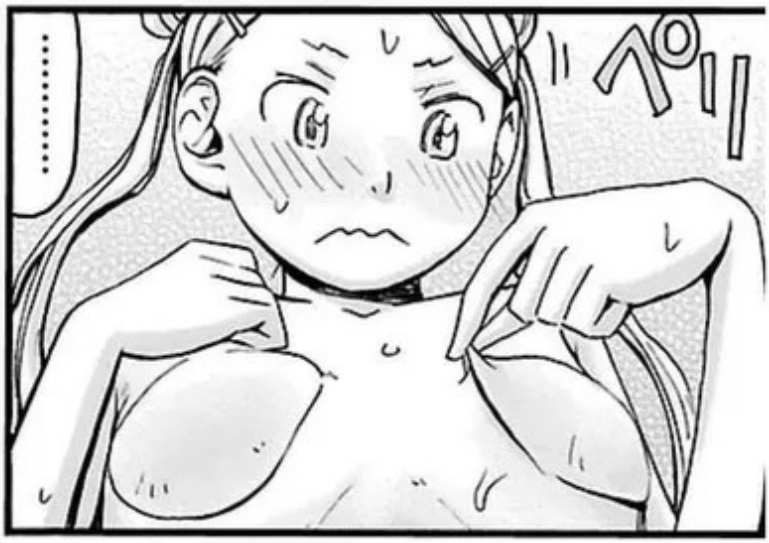

うひょー近くで見てもお人形さんみたいだなぁ
白肌で銀髪碧眼…
こら ダメですよこんな小娘の誘惑にひっかかったら
なっ!? 私ハ別ニ…！

それニ お前の方が
小娘デース！
どこがですか 私より
おっぱい小さいクセに

ちまっ
ちまっ
何を言ってるデス！
お前の方が小さいデス！
スイ

私の方が大きいです
よね お兄サマ
いや
私の方が
大きいデス
え？ いや
どっちも小さ…
同じ位……
そんなこと
ありません
よく見て下さい

私の方が
乳首の色も形もいいと思いますし
そんなの私だって
ぬぎっ
うおっ!?
何その下着!!


……
ペロ

さあ
ホラ
う……

あやっぱり
見せられる自信
ないんですね
そんなコトなイ

ペロン
プク
プルン
ど…どうだ？
うん…
ピンク色で…
すごくきれい…
ドキ
ドキ

でも見た目は良くても
揉み心地も良くなくては
え？

ふぁっ
ひやう
ピク
ピクン

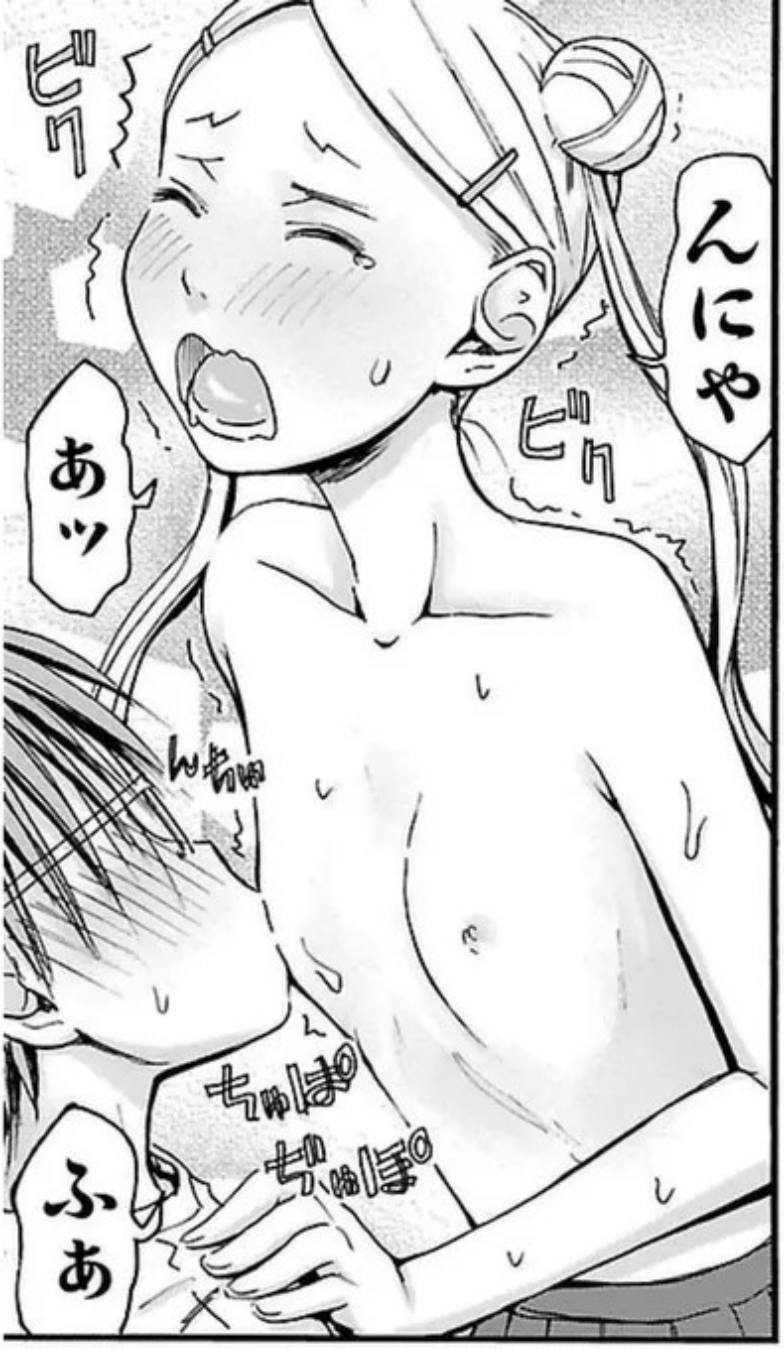
あう
ビクン
おや…なかなか
感度もいいですね
ホラ…
お兄サマも
比べてみて
下さい
んっ!?
え!?

どうですか？
お兄サマ…
私の方が
いいですよね
もみぃ
くにっ
いや…どう考えても
同じ人間の私の方が…
んっ
ピクッ

えと…どっちも…
クリクリ
んっ

コス
あにや
コス
ふぁっ
いい感じ…で

じゃあ…次は
味見ですね
へ？！あ…イヤ…
当然そうデスネ
ぷっぷっ
きゅうう


ビク
んにゃ
ビク
あッ
ちゅぽ
ちゅぽ
ふあ

じゃあ
お兄サマも
どーぞ
むぎゅ
え!?
う…ウム…
え?

んにゃ
ペロ
ひゃう

どうです?
お兄サマ…
ってこっちのお兄サマは
もうカチカチですね
ニニニ
ギンギン

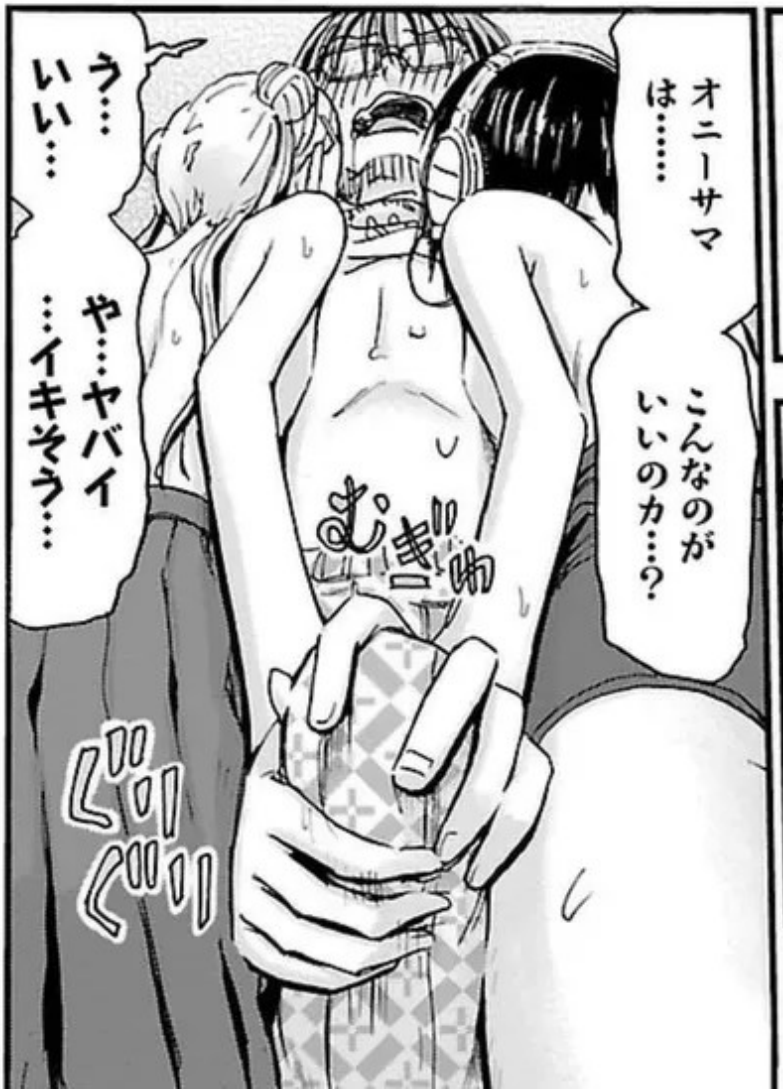
なに!?
ペロ
それも
オニーサマなのですカ!?
ん?

私にオニーサマを
渡すデス
えー あなたに
できるんですか?
もちろん
デス

ん…
スリスリ
ハイ…もっと
おっぱい…
押しつけて…
こうやって舐めたり…
こ…こう
ダロ…
ムニ♡
ムニ♡
ぴちゃ
ぴちゃ

ふあ…!?
な…なんダ?
オニーサマ…
すごく…熱くて
硬イ…
ピクン
サスサス

アレ? もしかして
触るの初めて
ですカ?
ま…
まサカ
オニーサマ
よく触りマス
コスコス


オニーサマ
は……
こんなのが
いいのカ…?
う…
いい…
や…ヤバイ
…イキそう…
むぎゅ
ぐりぐり

イク…？
オニーサマ
どこか行くのカ？
チロ
チロ
う…
あッ
しゅこ
しゅこ
ダメだ…
うっ!!
あくっ
びくん
イクッ!!
ひやう
ビクン
ビクン
ビクン
うあッ
あああッ

『妹！アンドロイド』第③巻／完

YC 烈
COMICS
ヤングチャンピオン烈コミックス

妹（いもうと）！アンドロイド③

谷澤史紀（たにさわしき）

©SHIKI TANISAWA 2016

2016年1月1日　初版発行

発行者
秋田貞美
発行所
株式会社 秋田書店
〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2丁目10番地8号
【編集部】TEL.03-3265-7362【販売部】TEL.03-3264-7248
【振替口座】00130-0-99353

印刷所
三省堂印刷株式会社
装　幀
芦田慎太郎

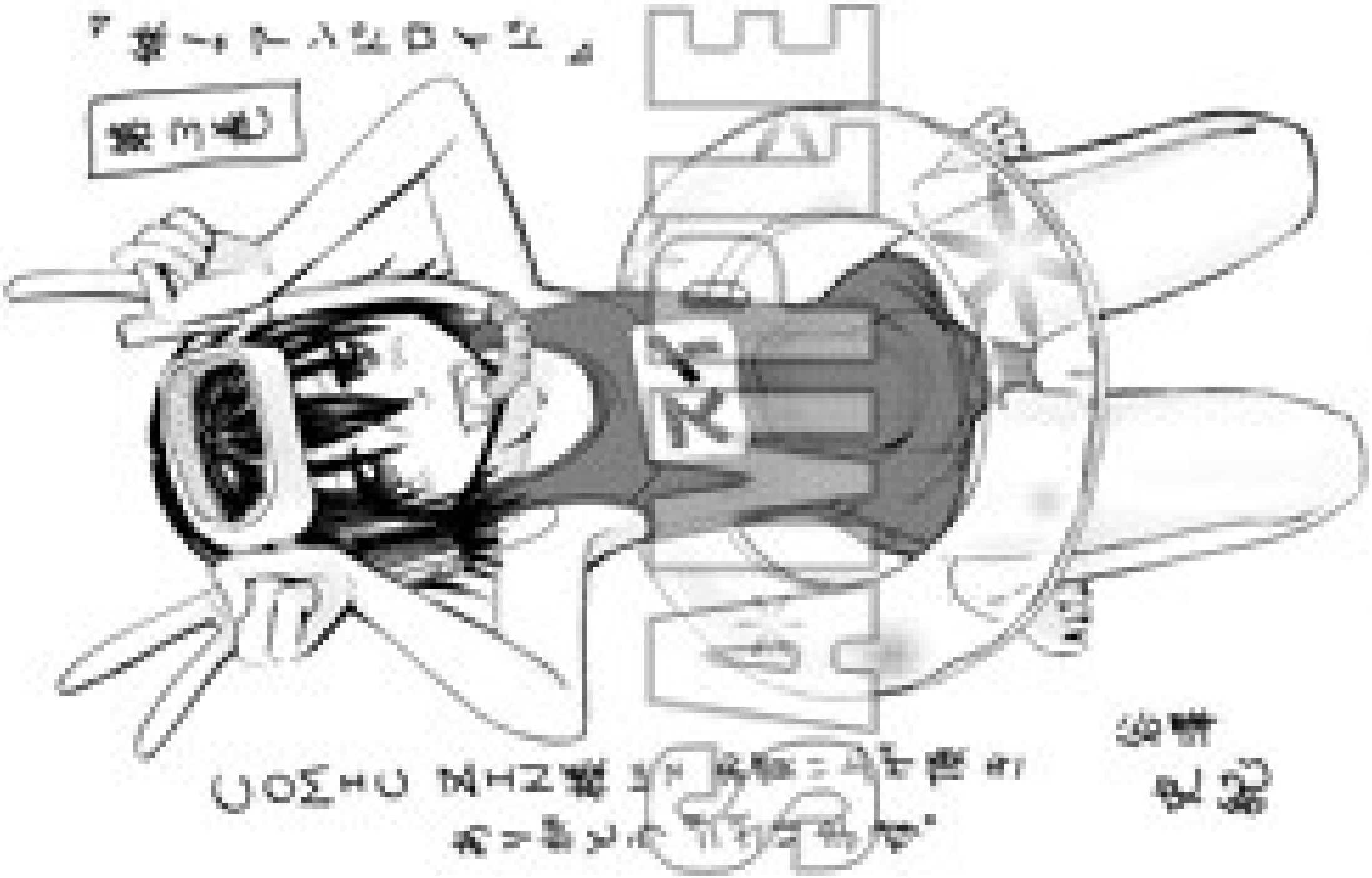
本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼して、スキャンやデジタル化することは、たとえ、個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

（禁／無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信・Web上での画像掲載）

ISBN978-4-253-25683-4
Printed in Japan

デジタル版　2015年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。

SAMPLE

©谷澤史紀／ヤングチャンピオン烈